

2016 01 JANUARY 2016 EDITION vol.101





楷樹(かいのき。箱崎文系地区)

箱崎文系地区の玄関前に 立つ楷樹。楷樹は孔子の高 弟・子貢(しこう)が、先師の墓 に植えたと伝えられる。この樹 は1993(平成5)年1月、孔子 75世の孔祥林氏が中国山 東省曲阜市の孔子廟にある



植樹の様子

楷樹の苗木を携え来学され、和田光史第19代総長と共に植樹した ものである。孔氏の来学と植樹には、当時「樹(き)の会」の会長で あった文学部国史学講座の教授、故・中村質氏の尽力があった。

日中交流の証でもあるこの樹は、文系地区の伊都キャンパス移転 にともない、移植・保存されることが決定し、そのため今春には剪定が 行われる予定である。

(大学文書館 教授 折田悦郎)



剪定前、最後の紅葉。2015(平成27)年撮影

九大広報 | CONTENTS

第六十九代横綱白鵬関来学 02

【インタビューシリーズ・九大人】

國武 豊喜 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長/九州大学特別主幹教授

【特別座談会】 07

躍進百大、九州大学 次なる百年に向けて今必要なこと

- 【躍動】サークル紹介 11 書道部
- 13 記者会見レポート
- MUSEUM REPORT 15
- 九大生が案内する世界のキャンパス 16
- **KYUDAI NEWS!** 17
- 受賞のお知らせ/ようこそ九州大学へ 20
- 九州大学基金 20 21
- 23 同窓会だより 九州大学ホームカミングデー&福岡同窓会アラムナイフェス2015

台湾同窓会総会·懇親会

九州大学学生寮同窓会 地区別懇親会

関西同窓会ビアパーティー

愛媛同窓会総会・記念講演・ビアパーティー

東京同窓会 Summer Festa 2015

文学部同窓会総会·懇親会

九大にくしん会 [150回例会]

第24回「東海九大会」

- 新聞で報道された九州大学 27
- 30 KYUDAI INFORMATION 平成27年度九州大学研究活動表彰 被表彰者一覧

表紙について

2015年10月、ウエスト1号館が開校しまし た。ウエスト1号館から同4号館までが連なる 雄大な姿は、伊都キャンパスの象徴ともいえ るでしょう。

センターゾーンから見上げるウエスト1号館の "横顔"には凛々しさがあふれています。

また、ウエスト1号館に設けられた情報学 習プラザの大きな窓からは、素晴らしい景色 を眺めることができます。

理学部などの新たな拠点として、ここから 世界に誇る研究成果が次々と生まれていくこ とが期待されます。

編集·発行 九州大学広報室

住所 〒819-0395

URI

福岡市西区元岡744

TEL 092-802-2130 FAX 092-802-2139

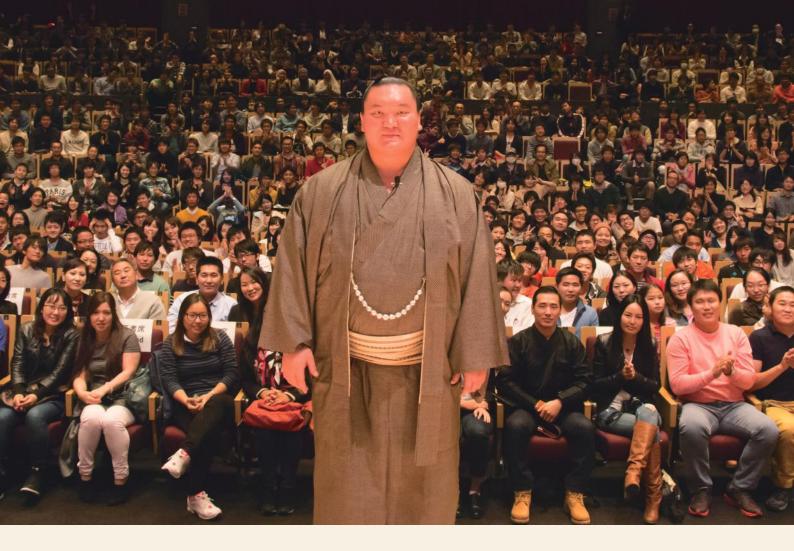
E-mail koho@iimu.kvushu-u.ac.ip

http://www.kyushu-u.ac.jp/ 印刷 城島印刷株式会社

編集協力 取材:藤浦一都 撮影:今村成明

デザイン: 團野孝幸

- ◎お読みになってのご感想やご意見をお待ちし
- ◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大 学広報室までご連絡願います。
- ◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読 みいただくことができます。
- ◎次号は、2016年4月発行予定です。



第六十九代横綱白鵬関来学

学生に向けて活躍の秘訣を伝授

るほどの超満員となりました。 こる来場者が集まり、立ち見が出

終始和やかに行われた講演会の様子

刺激となったようでした。 な質問が寄せられるなど、大いに 答のコーナーでは、学生から活発 これを受け、白鵬関との質疑応

異文化理解の苦労話とその重要

たき、白鵬関が日本に来てからの

ーの内藤堅志様にもご協力いた

講演会では、白鵬関のトレー

られました。その後、白鵬関とホー その他関係者に対して謝辞が述べ 理事・副学長より白鵬関、内藤様 かりの拍手に包まれながら盛況の 祈念し万歳三唱を行い、割れんば ルに集まった全員で今後の活躍を 最後に、本学を代表して荒殿誠

鵬関が本学伊都キャンパスの椎木 が語る、夢、―」をテーマに、未来 を担う本学学生に向けて講演会 講堂コンサートホールにて、「第六 を開催しました。 -九代横綱白鵬関講演会―白鵬

平成27年11月2日(月)、横綱白

れて最多優勝記録を塗り替える れ、日本の伝統競技「相撲」の世界 飛び込み、多くの困難を乗り越 若干15歳でモンゴルの親元を離

め、学生を中心に1000人を超 はどの大横綱となった白鵬関。 当日はモンゴルの留学生をはじ

ど、これまでの経験に基づいた非 う「型を持ち、型にこだわらず」な のためには何より基礎が重要とい どについて語られ、型破りの成功 感謝、そして夢をかなえることな 性、尊敬する双葉山関の話、親への メッセージが送られました。 常に説得力のある、熱のこもった



モンゴルの留学生から花束を贈呈

うちに講演会は閉会しました。

公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 九州大学特別主幹教授

:::

TOYOKI KUNITAKE

インタビューシリーズ

SERIES **KYUDAIJIN**

國武豊喜理事長は、昭和33年に九州大学工学部応用化学科を卒業後、昭和35年に 九州大学大学院修士課程修了。昭和37年にペンシルベニア大学で博士号を取得し、同 年から翌38年までカリフォルニア工科大学に博士研究員として在籍。昭和38年2月に九州 大学工学部助教授、昭和49年から平成11年までは九州大学工学部教授として後進の指 導に務め、定年後に本学の名誉教授に就任。その後、北九州市立大学の副学長を経て、 平成21年から北九州産業学術推進機構の理事長として活躍なさっています。また、平成 27年12月に本学の特別主幹教授に就任されました。

膜に注目し、人工膜を作り出すことに世界で初めて成功しました。その結果、「分子組織化学」 という新たな分野が切り開かれ、その後の材料化学分野に大きく貢献した功績によって、紫綬 てのこだわりや生い立ちについてお聞きしました。 昨年受賞された「京都賞」の受賞式でも取材した山縣由美子理事が、國武理事長の研究者と 章や文化勲章を受章されました。 九州大学工学部出身の國武豊喜理事長は、極限の薄さでありながら優れた機能をもつ細胞

KYUSHU UNIVERSITY Campus Magazine 2016.01 03

人工膜実現でその極限的薄さと精密さ細胞膜、 可能性広げたかった。

ちが、地球、に見たてた手まりを受 心のこもった授賞式でしたね。 とうございます。着物姿の子どもた 賞者にプレゼントするなど、演出も ― 「京都賞」受賞、本当におめで

られるんだなぁと感心いたしまし が印象に残っています。「京都賞」 ですばらしい式でした。 らしさが強く出た、とても華やか を総動員したような演出で、京都 たね。あとは、京都の伝統や文化 の主旨を本当に大事になさってお ため世のために」とおっしゃったの 國武:この賞を設立された稲盛和 夫さんが、お話の冒頭で「常に人の

國武:生命の起源に対する研究 細胞膜を人工的に作れるとは思わ が1977年に成功なさるまでは れていなかったのですね。 体の細胞を包む細胞膜に匹敵する 言で言わせていただきますと、人の 人工膜を作り出したこと。國武先生 - 國武先生の一番の業績をひと

生命としての一番大事な要素は、 世界で試みは続いていました。 はずいぶん前からありまして、

たり害になるものを排出したりし

かったですね。 を始めたので、タイミングもよ 人工物で作れないかという研究 なり、私たちはちょうどその頃、 造が具体的に議論されるように 分以外を区分けする細胞膜の構 明されてきた段階で、自分と自 1960年代に遺伝子構造やタ 、区分け、があるかどうか、です。 生命体自身と外界を区別する ンパク質構造が分子レベルで解

しい分野が切り開かれる、という **^直感、のようなものはあったので** ―― 細胞膜が人工的に作れたら新

構造でできていますが、基本的に 実に上手に必要なものを取り入れ を考えてみてください。細胞膜が 精密さをもっています。私たちの体 ベルですから、極限の薄さと最大の の最も小さなところ、つまり分子レ いくのですが、細胞膜は組織構造 で、より複雑で大きなものになって 小さくて単純なものが集まること れがさらに集まって別の形を作る。 分子が集まってある形を作り、そ がくっついています。組織構造は、 あって、その周りにいろいろなもの は口からお尻の穴まで一本の管が 國武:生物の体はいろいろな組織

> 考えはありました。 ろいろな可能性が出てくるという 工的に作り出すことができれば、い ていますよね。極限的に薄いのに驚 くほど丈夫で精密です。それを人

コンビニの店長だった?! もしかすると今ごろは

國武:今でいえばコンビニみたい ていたそうですね。 家は久留米市で食料品店をなさっ 國武先生の子ども時代、ご実

なもので、食料品から日用雑貨ま ビニの店長をやっていたでしょう 業を継いでいれば、今ごろはコン で何でもありました。そのまま家

てですか。 九州大学に進んだのはどうし

ました。

ずと九州大学を選択することに でしたから浪人はできない。受験 ので、大学に行ったらどうだ、と。 國武:両親が教育に熱心で、チャ 通えることも条件でしたので、自 れていました。そして、実家から に失敗したら家業を継げと言わ 学・高校とそれなりの成績でした とを期待していました。幸い、中 ンスがあれば大学に進学するこ ただ、経済的な余裕はありません

> ましたよ。 教養部時代は家から歩いて通え 教養部の第二分校があったので、 なりました。当時は久留米市内に

たのですか。 - 工学部を選んだ理由は何だつ

ろうという考えで、工学部を選び で、薬は化学だから、薬にも近い応 ら叱られましたけどね(笑)。それ た。薬学部の先生にこの話をした 薬学部は気乗りがしませんでし 用化学なら就職もすぐできるだ 行ったらどうだ」と言うんです。で た商売に見えたのか「薬学部に とを望んでいましてね。実家の近 國武:父が安定した仕事に就くこ しそうに見えなかったので(笑)、 も、私には薬屋の主人があまり楽 くに薬屋があって、そこが安定し



【聞き手】

はどんな学生でしたか。 しみを感じます(笑)。九州大学時代 國武先生が意外に、普通、で親

だったと思いますが、なぜ研究の道 卒業してすぐ就職なさるおつもり しまして、当時は中学生と高校生 國武:大学1年のときに父が他界 を選んだのですか。 ば、続けられなかったでしょうね。 実家から通える九州大学でなけれ いながら大学に通っていました。 の弟もいましたから、家業を手伝 ー がんばっていらしたのですね。

な選択でした(笑)。 ずに済む、と。今にして思えば、自 りも(大学院に)進学した方が実 何とか研究開発を続けたいと思う 國武:大学4年の卒業研究で初め 分が研究をしたいがための身勝手 もらえたので経済的な負担もかけ 家を離れなくて済むし、奨学金を ようになりましてね。就職するよ での研究がすごくおもしろくて て研究室に入ったのですが、そこ

1978年 高分子学会賞 1990年 日本化学会賞 1998年 高分子科学功績賞 紫綬褒章 1999年

2007年 文化功労者に認定 2011年 瑞宝重光章 2014年 文化勲章 2015年 京都賞

えていません

はまったく覚 スリッパの話 が一番ですね。 たという喜び

ていたことは が(笑)、興奮し

主な受賞と栄誉

日本学士院賞 2001年 きっと見つけ 世界の誰 確かですね。タ つけなくても いえば、私が見 イミングから

かが

て滞在費に当てました。ペンシル

う意味で私たちの取組は早かった てやるのか、やらないのか、でしょ たと思います。要は、できると信じ かもしれません。それと、私たちは ますが、使った材料の大胆さとい 「できると信じていた」点がよかっ ていたと思

よね。 して進んでいたわけではないです 今とは違って、研究機器も決 思っておられました。ちょうど工

で、とてもいい研究ができました。

ました。カリフォルニア工科大学

少数精鋭のとても優秀な大学

大学に博士研究員として滞在し の後1年間、カリフォルニア工科

学院教育は非常に遅れている」と 三郎先生は、日頃から「日本の大

で、3人の門下生を送り出された アメリカに学ぶべきだということ 教育方針をもった学科を作るには 学部の大拡張期の直前で、新しい

- そのときも奨学金はあったの

構造が同じ人工膜を作り出すこと

— 1977年に、細胞膜と基本

やるのか、やらないのか。 要は、できると信じて 國武:所属していた研究室の秋吉

ますよね。それは随分と思い切った

ベニア大学で博士号を取って、そ

その後、アメリカに留学され

選択だったのではないですか。

り、不純物も交じるようなもので は、すぐガスになって飛んでいった 難しい装置で、中の鏡体が少しで したから、我々が電子顕微鏡を使 も汚れているとすぐに性能がおか しくなるのです。我々が扱う材料 國武:当時の電子顕微鏡はとても

説が正しかっ

國武:自分の仮

うのを周りは嫌がっていました

の教授に手紙を書いて研究の手 の試験を受けてまかない、向こう 國武:旅費はフルブライト奨学牛

伝いをすることでお金をいただい

どんなお気持ちでしたか。

り前の考え方に

リッパを左右反対に履いていらっ

た。成功を確認した瞬間、先生はス に世界で初めて成功なさいまし

しゃったとお聞きしましたが(笑)、

科の教授が使わせてくれたおかげ で、説得力のあるデータがとれま したから。でも、当時の応用化学 50万円とか百万円くらいかかりま ね。一度汚れるとクリーニングに な可能性があるのです。

が広がったのは2000年くらい これからです。ナノテクノロジー 國武:実用という点ではまだまだ 織化」というキーワードを確立し ただ、新しい根源的な考え方を切 置づけられ、期待もされています。 からで、我々の研究もその中で位 に貢献しているからなのですね。 ギー、環境、ITなど幅広い分野で 章されました。それほどに評価さ かにも、紫綬褒章や文化勲章も受 たことは成果のひとつでしょう。 先生の研究成果が生かされ、社会 料電池開発をはじめ、医療、エネル れているのは、海水の淡水化や燃 「体では、分子が1個ずつ自発的 ^開いたこと、つまり、「分子の組 先生は今回の「京都賞」のほ

は、今では当た しい機能を果た 原理を応用する いいますが、この します。これを 構造になって新 に集まり特定の 分子の組織化 自己組織化」と

> るのは膜だけではなく、さまざま 子の組織化」によって生み出され 効な膜を作り出すことですが、「分 を自由に組織化、デザインして有 なっています。我々の研究は分子

國武:ものを分けるというのは日 とお考えですか。 後、どのように生かされたらい

― では、先生の研究成果が

いますが、今はまだたくさんのエ ギーを要します。膜は使われては 力をかけないと水は通りません。 塩分を分けるには、ものすごい圧 す。しかし、海水の淡水化で水と いもので分けるというやり方で 仕切って、それが通すもの通さな とが多くあります。フィルターで フィルターという名の膜を使うこ す。それを効率よくやるために 常生活においても大事なことで ネルギー 石油を分けるのにも高い熱エネル /間の体はとてもよくできてい が必要なのです。一方で



京都賞記念講演会での國武理事長

SERIES KYUDAIJIN 九大人

るメカニズムを人工的に作り出 くて済むし、抵抗なくものを分け できれば、使うエネルギーも少な し、生き物の膜に近い薄さを実現 性能なのです。生き物がもってい 体内にもっている膜は、薄くて高 ている二酸化炭素を光合成によっ 物も、地球温暖化に大きく関係し し、余分なものを排出します。植 て、効率よく栄養素を分けて吸収 てくれるようになります。 て分解します。つまり、生き物が

テーマですね。 のですね。水不足問題も大きな 環境問題に〝膜〟は鍵となる技術な ・なるほど。これから先の地球

國武:福岡でも海水から水道水を ネルギーをあまり使わず、効率よ 今後ますます必要とされます。エ 的に上手にものを分けることは、 ストはかなり高いです。より経済 作っていますが、そこにかかるコ く必要なものだけを取り出す膜。 これが今後の一番のテーマでしょ

包丁勝負の板前と同じ。研究者というのは

できない人間だったので、睡眠は 國武:寝ます(笑)。昔から徹夜が い時はどうしていらっしゃいますか。 おっしゃっていますが、息抜きした 先生は「研究が最高の趣味」と

> 聴きます。ピンクフロイドとか大 と音楽ですかね。音楽はジャズか ら始まってロックもクラシックも しっかり取りますよ。あとは、読書

> > いことが見つかることですね。そ

んな小さいことの積み重ねです

在ですか。 おもしろいです(笑)。では、先生の 人生にとって九州大学はどんな存 ― ピンクフロイドと國武先生!

決して九州大学という看板に頼 ので、そのバランスが日本の大学 を安定させることも確かに大事な ころがあります。組織として大学 として生かすことを望みづらいと 負うことが多く、研究者を研究者 学組織は研究者が管理責任まで るから言えるのですが、日本の大 これはアメリカでの研究経験があ てはいけないと思っていました。 という信念をもっていますから、 自身の研究の成果で勝負すべきだ 負するのと同じで、研究者は自分 ただ、板前が自分の包丁一本で勝 かったですし、感謝もしています。 國武:同僚や学生たちと何十年も 全般における大きな課題だと感じ 緒にやった研究はとても楽し

の気骨を感じます。先生が研究者 うなときですか。 としての喜びを感じるのはどのよ - 今のお言葉に、研究者として

國武:やはり自分のアイデアがう まくいくこと、思いがけずに新し

> が何よりもおもしろいです。 よ。日々、新しいことに接すること 九大生など若者にメッセージ

をお願いします。

好きでしたよ。

がいっぱいありますが、学生時代 國武: 世の中にはおもしろいこと はそれがなかなか見えないですよ

す。これまでの歴史を見ても、社

会が抱える課題は決してなくなり

リハリなく4年間を過ごすのは本 のある生活を送ってほしいと思い 当にもったいない。遊ぶときには ね。私自身もそうでした。でも、メ 課題というのは変化していきま ます。そして、時とともに社会の 遊んでもいいから、もっとメリハリ

しいと願っています。 今日は貴重なお時間をいただ

喜びを感じるような人であってほ かっていくことに、おもしろさや 出てきます。新しい課題に立ち向 で、何かが解決すれば次の課題が ません。それは技術の世界も同じ

き、ありがとうございました。ます ますのご活躍を期待しております。





京都賞受賞式会場で、山縣理事と







• 大工原銀太郎





躍進百大、九州大学

特別座談会 Special Roundtable Discussion

百年に向けて今必要なこ

基幹教育機関としてのグローバル人材の養成とイノベーション創出~

来年度から第3期中期目標期間が始まります。

九州大学は、「九州大学アクションプラン2015」の策定を機に、

学外有識者をお招きして特別座談会を行いました。

【座談会参加者】写真左から

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長 古川 貞二郎氏

九州旅客鉄道株式会社相談役 石原 進氏

第23代 九州大学総長 久保 千春

読売新聞東京本社編集局企画委員 知野 恵子氏

大学全体がまだまだできていな 育は、九州大学に限らず、日 大学にはなかなか合格できませ な競争になるとアメリカの一流 理的な思考が苦手ですから、公平 ます。もともと日本人の学生は論 ん。論理的思考を伸ばしていく教

なのは、まずは言葉ができるこ の能力が求められていると思い Tを使いこなせる知識。この4つ 知識も求められます。さらに、「 から見れば、ファイナンシャルの ダーシップですね。私ども企業人 もった人をまとめられるリー と。やはり英語がメインになるで **石原:**世界に通用する人材に必要 しょう。次に、違う歴史や文化を

けますでしょうか。 いて石原様から順にお話いただ られる能力、大学の役割などにつ は、グローバル化する社会で求め のご意見を頂戴いたします。まず ション創出をテーマに、みなさん 2015」の中から、今回はグ 策定した「アクションプラン 指しています。その実現のために とで世界トップ100大学を目 て「躍進百大」のスローガンのも 立百周年を迎え、次の百年に向け 久保:九州大学は平成23年に創 ーバル人材の養成とイノベー

求められる能力とはグローバル人材に

いと思いますね。

は、若いうちに外国に行くことも とも必要でしょう。そのために のかなど、疑問を持ち、自ら問い 識を身につけた上で、今自分が という一例です。基礎的学力や知 日本語で論文を書き、それをもと ところもあります。なぜかという を書かせることをやめてしまった ていることは本当にその通りな けが答えなのか、常識だといわれ のか、今自分が考えていることだ やっていることは社会、経済、国 に自分で考える力が必要なのだ はもちろん必要ですが、それ以前 やり方に変えたそうです。語学力 に自分で英語に翻訳するという からだそうです。このため、まず で考えないことが目立ってきた ピー&ペーストしてしまい、自分 と、学生が外国の英語論文をコ 行錯誤を続けた末に、英語で論文 あります。しかしその中には、試 せたりしている大学や大学院が 授業をしたり、英語で論文を書か ル社会で生き抜くために英語で つけることです。確かにグローバ 分の頭できちんと考える習慣を ろ日本語にしろ、まずその前に自 ます。ただ、大事なのは英語にし 語の能力はとても重要だと思い 知野:今ご指摘のあったように英 けてみる。そういう力を養うこ 歴史的にどういう意味を持つ

> が大事だと思います。 ではないということを知ること 野の人と話し合ったり、ITを利 いること、視点だけが世界の全て 方もあります。今の自分の考えて 用して調べたりするというやり 違う価値観を持つ人や様々な分 1つのやり方でしょうし、国内の

バル化する社会で求められる能 うな状況の中で、日本は科学技術 課題が横たわっています。そのよ 題 題、資源問題、食料問題、人口問 地 ように感じます。知的好奇心や相 若い人は想像力が低下している 氾濫しているせいもあって、今の ともいえます。あまりにも情報が 挑戦していく姿勢、豊かな想像力 それは既存の枠にとらわれずに ことができる能力だと思います。 重して、ものごとに対処していく 力とは、相手の多様性を理解・尊 本の役割は大きいのです。グロー なければなりません。それだけ日 ウハウを活用して世界に貢献し 係など、多面に渡って優れたノウ や食の安全、高齢化対策、福祉関 人々が存在して、そこには環境問 していくことだと考えています。 らものごとを捉えて、それに対処 何かというと、全地球的な視点か 古川:そもそもグローバル化とは ウをもっていますから、そのノ 球にはさまざまな国、民族 、貧困問題といったたくさんの

ていきたいと思っています。

やればいいのですよ。

ることが必要なのではないで 手を受容する包容力を身につけ しょうか。

じております。古川様がおっ ございます。英語の能力について 源となるのは、あくまでも自分自 源というのがあると思います。根 古川:それについては、手段と根 いえるのかもしれませんね。 に欠けるというのは、一方ではI 入れていくことが大事だなと感 アクティブラーナー育成に力を 力、自分で考える力については を行っています。自分自身で疑う を利用して海外に飛び出す支援 援制度やパートナーシップ制度 会を作っています。さらに留学支 の試験を受けて能力を上げる機 大学も入学者全員がTOEFL ル大学創成支援」などで国も力を **久保:**貴重なご意見をありがとう しゃった挑戦する姿勢や想像力 入れて取り組んでいますし、九州 は、昨年から「スーパーグローバ 術の発達による副作用 とも

せるための手段としてIT技術 身の発想であって、それを実現さ を使うべきだと思いますね。

といいますか、失われた20年とも くいっていません。停滞する時代 から日本はいろいろな面でうま い時代なのです。21世紀に入って 石原: 21世紀というのは答えのな われています。一方で世界の変

> ういう教育を目指すべきです。 違うことを言っても「両方ともい 学のマイケル・サンデル教授は、 もっと考える教育を大事にしな そのためには、自分の頭で考える い人材がいる国が勝つんですよ。 り、人材の育成だと思います。い の要となるのは、やはり教育であ やってついていくのか、どうやっ 化はとても速い。その変化にどう い答えだね」と言う。大学ではそ Aという学生とBという学生が いとダメなんです。ハーバード大 人を育てるしかないと思います。 て世界をリードしていくのか。そ

生全員が学部の枠を超えて学ぶ 幹教育を開始しました。その成果 制度を準備し、平成26年度より基 久保:九州大学でも、平成23年度 に基幹教育院を立ち上げて、新入 が当たり前になっていて、数学が ますね。そういうことを日本でも ぐに大学に入るという話もあり とてもできる人が中学を出てす に思えます。アメリカでは飛び級

傑出した人材をどう作るかだと について今後しっかりと検証し

をテーマに、学術研究に対する期 **久保**:続いてイノベーション創出 石原:イノベーションというのは をしていただけますでしょうか。 ての大学の役割などについてお話 めの環境、多様な人材のハブとし 待、イノベーションを生み出すた 必要な環境とは イノベーション創出に

伸ばしていく教育が必要なので ういう人が、イノベーションを創 学者を育てればいいんですよ。そ 思います。そのためには型には を日本の教育は潰しているよう はないでしょうか。そういう才能 はまらない教育、才能を徹底的に 造していくのだと思います。型に いう人がいる。そういう才能を徹 は数学だけは誰にも負けないと けは得意という人がいる。あるい はまったくできないけど英語だ ないことが大事です。例えば国語 (的に伸ばしてあげて、世界的な

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長 古川 貞二郎氏

入ってからは、研究成果をもと してきました。2000年代に 科学技術の研究には手厚く投資 国の財政情勢が厳しい中でも、 科学技術を推進してきました。 5年に制定されて以来、政府は 知野:科学技術基本法が199

すイノベーションを生み出すこ

に、社会や経済に変革をもたら

とに力を入れています。最近で

層それが際だっています。た

芸術系まで幅広い人材が揃って かと思います。 すことが可能になるのではない 合いながら新しいものを生み出 いますから、それぞれがぶつかり 学で、医学から法律、経済、人文、 の意味では、九州大学は総合大 るからではないかと思います。そ 機会を作ることが不足してい

と思います。

思います。ですから、若手研究者 が研究に没頭できる環境をいか 努力によって実を結ぶものだと 若いときの豊かな発想が長年の おられます。そのような成果は、 究に励み、優れた成果をあげて ます。ノーベル賞に限らず、多く は無限だなと思ってわくわくし を見ていると、学術研究の世界 古川:ノーベル賞のニュースなど 研究者がさまざまな領域で研

ります。専門分野だけを専門家 が創出されないという現状があ 成果があってもイノベーション 出せない、あるいは研究面での ンにつながるような成果が生み だ、日本ではどうもイノベーショ

を受けて、新たな発想を生み出 て、広い分野の人と接して、刺激 の目でだけ見ているのではなく

> 境づくりを進めていくべきだと のみならず、外部の我々も努力 残念なことだと思います。大学 研究から離れていくのはとても りますが、若手研究者が諦めて 感じています。 をして、若手研究者のための環 に作るかが大事なのです。財政 な問題を主に厳しい現状はあ

的

若い人は積極的に留学したらい 思います。日本人だけでかたまっ の世界でも同じです。ですから、 科学技術だけではなく、 発想を生み出しています。それは 出てきません。優秀な研究者の多 ていると新しい発想はなかなか がありますが、多様性が大事だと 石原:ダイバーシティという言葉 て、そこでもまれることで新しい くは、やはり自分から海外に出 社会科学

> らは日本でも研究に集中できる けに打ち込んでいました。これか していましたが、その間は研究だ **久保:**私も2年間アメリカに留学

性を秘めていることを改めて感じ 時々の研究の流行に振り回されず さんもそうです。研究にはいろいろ 生理学・医学賞に決まった大村智 実った方が少なくないです。出身 ツコツと研究をされ、その成果が に、自分の信じるところに沿ってコ くないと思います。昨今の日本の にはめてしまうようになってはよ なやり方があり、それぞれに可能 立大学の方もいらっしゃる。今年の ノーベル賞受賞者を見ますと、 大学も旧帝大だけでなく、地方国

環境を作っていくことが何より 知野:「こうしなきゃダメだ」と、型 も大切だと感じています。



読売新聞東京本社編集局企画委員 知野 恵子氏

議論だと思います。

をまとめていくのは大変なこと 集めました。様々な国の飛行士が いでしょうか。 んも、きっとそうだったのではな とかもしれませんね。若田光一さ え、考えることなのでしょう。結 石原:個人が真剣にものごとを捉 や資質が養われたのではないか く、九大時代も含めてそういう志 で、宇宙飛行士の訓練だけではな 滞在する宇宙ステーションで皆 本はもちろん世界からも注目を 長になるのは初めてのことで、 船長をつとめました。日本人が船 めている国際宇宙ステーション 知野:若田さんは、日米欧露で進 ンビション(野心、大志)というこ 局は個人の心の問題というか、ア

日

それに圧倒されている気がしま ことだとは思いませんが、心が ぶんと経済的なものに寄ってい く、心の問題に目を向けてほし 文明にスポイルされるのではな 人生を送れると思います。物質 さを理解する方が、より幸せな ために貢献することのすばらし す。物質的なものではなく、人の 古川:物質が豊かなことは悪い についてはどう思われますか。 るように思えます。価値観の変容 久保:今は、個人の価値観がずい ですね。それもまた多様性

九州旅客鉄道株式会社相談役

石原 進氏

発展させていくだけではなく、

題点や課題を、専門家以外の人た 科学技術などの研究が抱える問 自分がやっている分野の持つ社 究成果を発信するだけではなく、 は発信力をもっと高めていくこ るのではないかと思います。あと することで、世界に開かれたアジ 成長が期待されるアジアと協力 域的利点をもっています。今後の 知野:九州大学は総合大学である 望むこと、こうあるべきだという ちにも、わかりやすくきちんとお 会的意味、自分の分野だけでなく とが必要だと思います。自分の研 アの拠点としての役割を果たせ と同時に、アジアに近いという地 ご意見を頂けますでしょうか。 **久保:**それでは最後に九州大学に

0) ションまで、いろいろあるわけで ベーションから大きなイノベー 研 ズがなければ、先生方もどういう 作るべきでしょうね。民間のニー 研究者との出会いの場をもっと と思います。民間の企業と大学の コミュニケーションに問題がある 大学の先生方と民間の企業との ないのが現実だと思います。まず では産学連携がうまくいってい ことを言わせていただくと、日本 石原:産業界の人間として厳しい 多くありません。そういう研究者 話できるような方はまだあまり 話をして「こういうものを作ろ から、中小企業の方とも積極的 かがわかりません。小さなイノ 究をすれば社会に活かされる

うじゃないか」という形を、もっ

工序模太郎

医療福祉、防災など、アジアに伝

ます。 とうまく作れたらいいなと思い

がうまくやっている実例もあり 仕掛けが必要だと思います。 にコラボレーションできるような 7 ます。そういう学校は地域密着な 小さな地方大学や専門学校の方 ているかということです。もっと 石原:具体的な成果がどれだけ出 ぶんと進んでいる感覚だったの んですね。九州経済界も努力はし 久保:私としては産学連携はずい いますが、大学と民間がお互い 、今のお話は少し驚きました。

久保:では、古川様はいかがで

で、九州大学のプレゼンスを高め が、激化するグローバル競争の中 の大学だと位置づけられています 九州大学はアジアでトップクラス 真っ只中に入っていくはずです。 アジアは世界の中で最も発展する が強みだと思います。これからの が、アジアに最も近い大学であり、 古川:知野様もおっしゃいました いでしょうか。さらに、環境、食料、 なく、アジアに向けて留学生をど 留学生を大勢受け入れるだけで ていくためには、アジア各国から 長い交流の歴史をもっていること んどん送り込んで、アジアの中に い込んでいくことが大事ではな 域ですから、グローバル化の

> 則です。九州のリーダーでもある は地域とともにあるというのが原 らに抜きんでた優れた大学になる で多様な結びつきを強化してほし ことを望んでいます。さらに、大学 位置する九州大学が、アジアでさ くさんあるわけですから、先端に えていくべき知識やノウハウがた 、産学連携でも地域を巻き込ん

> > うございました。

ていただきます。本日はありがと をお約束して、座談会を締めさせ

舞台に活躍できるグローバル人 な使命です。特に近年は、世界を できました。優れた人材の輩出 待の強さを改めて感じることが **久保**:本日は貴重なご意見を頂戴 材の育成が求められています。 は、我々大学に課せられた普遍的 し、社会から大学に寄せられる期 そして、大学には既存の科学を



とイノベーションの創出の実現 に掲げたグローバル人材の育成 す。「アクションプラン2015_ していくことが期待されて







幹事 平下 康輔さん 経済学部2年



副幹事 山田 凌乃介さん 工学部1年



書道パフォーマンス リーダー 清田 小春さん 医学部2年

大学で行う書道とは。

サークル 紹介

どのような活動をしていますか。

互いに独立して練習しながらも、 刺激し合っていますね。 コミュニケーションを取りながら 示会や学祭に向けて練習します。 平下:各自が好きなときに来て展

活ではなく、週に1回、 してやっていました。

所属していました。 に行き、中学・高校では書道部に

く未経験者です。

由は何ですか。 大学で書道をしようと思った理

ていて、大学でも当然やるという 気持ちでしたね。 山田:書道が自分の中に染みつい

平下:僕は年賀状を筆で書きたい 何ですか。 きたいです。 と思って入部しました。まだ書け 高校までと大学での書道の違いは ていないのですが、今年こそは書

ではなく、お手本を自分の方に 端に言えばお手本通りに書くの 平下:高校までの書道は、書道と いうよりお手本通りに書く習字 近いです。大学の書道では極

はなく個性を見てくれます。

せるところです。字の上手い下手で 書道部の魅力としては、個性を出 ないようになりました。また、九大

▲「躍動」の文字を書いてもらいました。

書道歴はどのぐらいですか。

清田:私は小学2年から書道教室 山田:僕は小学3年からです。部 、習い事と

平下:僕は大学に入ってからです。 ちなみに部員の半数は、僕と同じ

恵まれています。

まな人たちに見てもらう機会に

書道の魅力や特徴を教えてくだ

さい。 喋らないので、集中は絶対に切れ います。字を書いている間は全く 山田:集中力がつくところだと思 きに、「きれいだね」と言われる機 平下:ノートの字を友達が見たと 会が多くなったのが魅力ですね。

山田:お手本通りに書く書を臨 るかが大切です。 引き寄せていかに個性を表現す

手本を書いてもらい、それをもと が高校との違いだと思いますね。 と言います。僕は高校までは臨書 に入ってからは作品展でさまざ で、私はそこが好きですね。大学 でいちから作品を創り上げるの に書いていました。大学では自分 考えた書を一度先生に見せてお 清田:高校までの創作は、自分が は創作が出来ますし、書を納得い する書を創作と言います。大学で た。対して自分で考え自由に表現 しかしたことがありませんでし くまで書き上げることが出来る点

個性あふれる九大書道部。







Focus

主な展示会

(1) [旧帝展]

旧帝国大学の書道部が合同で行う展示会で、 毎年8月に行います。臨書と創作に分かれてお り、九大は主に創作に出展します。

🖲 「九大祭」

体育館での書の展示の他に、ステージ発表も行 います。今年は3年生合作の五体千字文の展示 や、音楽に乗せたパフォーマンスを行いました。

(三)「卒展」

多くの方に自分たちの書を見てもらおうと、昨 年より始めた展示会です。毎年3月頃に行い

九州大学書道部

◎部員数

52人(男27人、女25人)

伊都キャンパス学生支援施設、箱崎キャンパス 課外活動共用施設、唐人町八橋神社

◎活動日

火曜日、木曜日

○問い合わせ先

E-mail:kyudai shodo@hotmail.com Webサイト…http://kyudaishodo.web.fc2.com/

この記事は、広報室学生スタッフが制作しました。



工学部 学部3年 福田健太 地球社会統合科学府修士2年 毛雪梅 農学部 学部4年 髙崎竜太朗

https://www.facebook.com/KyushuUniv.Student



▲千字文の練習風景。2年生も2016年の九大祭での展示を目指し ▲創作心のこもった九大祭での展示作品 ています。



清田:字が上手くなるだけではな

き合っていきたいです。

です。 一味として続け、上手くなり 田:書道が好きなので、ずっ 嫌になる時もあります

書道

の習慣を絶やさず一生涯

平下 ますか かり 大書道 1大学の作品とは違いが 飾 ます。そこでは作品をランダム 旧 どれ るの n 九 帝 一かな書体で創作してい る作品展に毎年出 大書道 国 ですが、他大学の 部 一大学の いの人も、 部 7 は 、九大の つ 旧 0) 帝 あ 展

後に部や個人の目標を聞 道に関するエピソード デザインやレイアウトの力が かすぐに分かります。 I展して 大学で は き書だ 人も とい あり ず か 0) せ

いこうという思いで書いて なる素人の書だ」と言われます。 書で 書道 下:毎週火曜日にOB して活動して Ĺ ら九大書道部は本当の書家を えにきてくださいます。 できれば書と一生付き合って 方は「九大書道部の書は偉大 形 L は作品を見たときに、 学生時代に努力をお が崩 あると思います。例 しているわけでもあ しい書を書 書だと思える書が けではないですが、適当 る書というような、 れていても芯が け るように その パえば、 しま あ りま いま





「まちづくり」

П ラ

グ

ラ 0) 4

0)

力 とし 1)

竹内 太郎 たけうち たろう (地球社会統合科学府 博士後期課程2年)

クショップ

」を開催しました。本

持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム

国際ワークショップ

を共有することを目的として をテーマとし、日韓の様々な取組 シンポジウムでは、 おける課題を比較整理し、その 決に向け たアイディアや情報 **「**まちづくり

設けました。

域 題、「食」を活かした地 を行い、都市部の問題、 10 る3つのセッションを 島・中山間地域の間 性と関係性を考え 名が企画・運営全て

手法を九大生が考える国際ワー

まち

づくり

の哲学と

成27年 4

10 環

月 21

様

文化が花開いた理由、

、佐伯

の経営哲学と筑豊で食

・職員による「食」を通 「ひとづくり」の実践に

では、ソウル市と福岡 合 となりました。コーディネー の事例を現場に近い方が 都市部のセッ 相互に大きな刺激を与える会 ショ 登壇

市

様な視点と包括的な知見を得る 行うことが期待されます。 も各地域へより実践的な貢献を ことで、今後の実習活動にお て、「まちづくり」に関するより多 本シンポジウムに

「おいしい」は「しあわせ」

ます。学生が主体とな 々な分野の学生

関するお話、

そして筑豊地

一の人気フリーペーパー

の目

本プログラムでは、「地球環境と人類社 会の持続可能性に向けて取り組むべき 重要課題」として、環境・災害・健康・統 合・人間の5つの課題を選定しています。地球環境・ 人類社会・人間行動についての体系的な理解に加 え、国内外の様々な現場で協力しながら問題解決に 取り組む実践経験を通じて、地球環境と文明社会

対馬市、

韓国慶尚南道で活躍する

地域のセッションでは、八女市

ンに関わりました。離島・中山

7

ップでそれぞれの機関を訪 おり、より近い目線でセッシ

の学生は、実際にインター

ドとしている地域でもあり、

プ ıν

の持続可能性を切り開くグローバルリーダーを育成

、ラムでの教育成果がひとつ

ていただきました。特にこれら 公務員や活動者の方にお話

本プログラムでフ

イ |

するセッ

ションでは、 たといえます。

筑豊地

「食」に関

伯

市

で活躍

する「変わり者」が

introduction

なりました。飯塚市にある食品老 登場したユニークなセッショ

代表からの一言 上記のようなワークショップをはじめ、自由で闊達な活動が出来る決断科学大学院プログラムは、学問 的素養だけではなく「人間の根っこ」を育てたい人にとっては有意義な教育プログラムであると思います。 それぞれの「個性」を十分に発揮できる大学院生にその門戸は開かれています。

事ができました。

くり」に関する意見を聞 線からそれぞれの「まちづ を創るデザイン会社

専門の枠を超えて、あらゆる視点を獲得したいと考えている方に、ぜひプログラムに参加していただけれ ばと思います。

【お問い合わせ】学務部決断科学大学院プログラム支援室 Tel: 092-802-6049 E-mail: ketsudan@jimu.kyushu-u.ac.jp



することを目的としています。











物質化学機能教室(応用化学教

(法文学部







近代建築物 撮影ツアー

企画部統合移転推進課

本館)、旧文学部心理学教室、応用 る旧応力研生産研本館 れている文系学部発祥の地であ の説明会の後、今後解体が予定さ しました。 11 本ツアーでは、歴史や記録保存

近代建築物撮影ツアー」を開催 箱崎キャンパスにて、 18日(日)、九州大学 成27年10月16日(金)、



旧応力研生産研本館(法文学部本館)

と記録を後世に継承する 約150名、18日には約 く予定です。 サイトなどで公開してい 録し、その記録をウェブ 正確な位置情報等を記 ため、建物の歴史や画像、 代建築物について、記憶 450名の参加者で賑わ いました。 九州大学は今後も、 本ツアーは、16日 近

明しました。 料室の折田悦郎教授が説 に大学文書館・大学史資

物について」と題して、16日に百 崎キャンパスの歴史と近代建築 ついて説明しました。続いて、「箱

年史編集室の市原猛志助教、18

左にある写真は、1925 (大正14)年に法文学 部本館として建設された関東大震災後の初 期鉄筋コンクリート造建築物。1964(昭和

39) 年の文科系貝塚地区移転まで法文経学部本館とし て使われた。

拶の後、人間環境学研究院の堀賀

説明会では、佐藤優副理事の挨

貴教授が「レーザースキャニング

技術を使った建物の記録保存」に

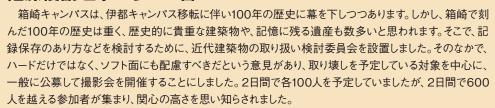
開しました。

出来ない玄関ホールも特別に公 を目的として、普段は見ることが 見て、記憶にとどめてもらうこと 近代建築物を巡りました。間近で 三学生集会所(三畏閣)の5棟 室)、工学部高温度化学実験室、第

独特の装飾と堂々とした風格のある倉田謙(※)の代表 的作品のひとつ。

(※) 倉田謙:九州帝国大学の建築課長として、大正~昭 和期の九州におけるセセッション風建築(幾何学的意匠 や渦を巻く植物模様が見られる様式)を多く建設した。





【お問い合わせ】企画部統合移転推進課 Tel: 092-642-7645 E-mail: kitleed@jimu.kyushu-u.ac.jp





歴史的機械移設直前の実習工場の様子

されています。

験工場と文化財工作機械群」でしょう。 産にもなっている、熊本大学の「旧機械実 化財となり、また日本機械学会の機械遺 は、平成6(1994)年に国指定重要文 決して多くはありません。最も有名なの 歴史的機械が今も残存していることは、 このように大学が実際に使用していた は、モノづくりのための工作機械が必須 す。そして、これら重工業を支えるために 業化に中心的役割を担ってきたもので 910年にかけて、我が国における製鉄 れました。これらは、1850年代から1 石炭産業」が、世界遺産一覧表に登録さ 鋼、造船、石炭産業などの重工業の産 本の産業革命遺産製鉄・製鋼、 成 27 (2015)年7月5日 造 明 治

九州大学総合研究博物館の収蔵資料

製)などの材料試験機も、博物館で保存 振り子衝撃試験機・1911年購入)、小 も、大型シャルピー衝撃試験機(ドイツ製 ととなりました。また、工作機械以外に これらの歴史的工作機械類は、工学部 から昭和3 (1928) 年までの間に、複 のために、明治44(1911)年の創立年 大学総合研究博物館が管理・活用するこ (1949)年以降は日本製の竪削り盤 式回 が削り盤、 重な歴史的教育研究資料として、 都キャンパスへの移転を機に、本学の の工作機械が輸入・設置され、昭和24 九州大学でも、金属加工の教育・研究 [転曲げ疲労試験機二号機(日本 、旋盤なども導入されました。 九州

機械加工の演示をできるようにしたいと

資料を用いていつの日か、動態展示や

〈九州大学総合研究博物館

専門研究員 甲木昭雄・

准教授 三島美佐子〉

切に保存されています。 いた木煉瓦とともに、

本学でも、これら 時保管場所に大

木煉瓦敷

態展示を可能としています。 熊本大学では、百周年記念事業でそれ 機械や動力を完全に修復・復元し 動※ b

0)



※1エアハンマーおよびドリル研削盤(1911年)、ラジアルボール盤(1912年)、施盤(1912年)、中ぐり盤(1914年)、平削り盤(1915年)、ギヤシェーパ(1921年)、形削り盤(1928年)。()内は購入年、エアハンマーのみイギリス製、他は全てアメリカ製。いずれも機械学会の「機械記念物-工作機械編-」日本機械学会編(1997年)に選定されている。
※2実際に運転し、動くところを観察できる展示のこと

「九州大学所属標本·資料」九州大学総合研究資料館設置準備委員会編、1985年

ŋ

は、工場の道具類や床に敷き詰められて

は、移転・土地売却に伴う整備により取 相をよく残していた知能機械実習工場

残念ながら本学では、昭和の工場の

様

壊しとなりましたが、上述した機械類

「九州大学所蔵標本・資料」 九州大学総合研究博物館編、初版2004年、改訂版2012年 「九州大学の宝物」 九州大学百年の宝物刊行委員会編、2011年

「九州大学ミュージアムバスプロジェクト」九州大学総合研究博物館監修・九州大学大学院芸術工学研究院編集、2013年

九大生が案内する

界のキャンパス



(中国語を専門的に勉強するクラ

旦大学では、

前期は

語 言

経済学部3年 鈴木 繁(すずき しげる)

ス) に属しました。

た。

て学ぶ留学生で構成されるクラ 国語や中国経済のトピックにつ ス) に、後期は経済班 (ビジネス中

英語でのコミュニケーションをとる

る機会を積極的に作り、中国語は

ことに重点を置いて生活しまし

て、中国の学生や留学生と交流す ル、サルサダンスクラブに参加 学の野球サークルやゴルフサー

来たのに授業の予習復習だけで終 ラスが分かれるものの、初めは わらせてはもったいないと思い、大 杯でした。しかし、せっかく留学に ミュニケーションをとることで精 前期は個人のレベルに応じてク

中に入ると毛沢東像が見えるキャンパス正門

「海外ビジネスと文化の関わり」の授業風景

ができました。留学前から掲げて

た、「何事にも挑戦する」という

標があったからこそ、留学先で

したりと、貴重な経験をすること 伝いを通して海外ビジネスを体験 ラソンに出場したり、知人のお手

他にも上海の九大〇Bの方とマ

ています。

をできたことは、

強く印象に残

ていた上海株式市場について発表 情報を仕入れ、当時大熱狂を呈

証券会社に勤務する友人へのインタビュ

るため、証券会社で働く中国の

人にインタビューを行い、リアル

中

国の株式市場について調査をす

を使う場面が増えました。

中でも

くあるため、

、より実践的に中

国

中国と他国の経済との関わりや経 た。個人やグループでの発表も多 素が入り、座学が中心になりまし 済新聞閲覧など、少し専門的な要 後期はビジネス中国語や金融

エネルギッシュな上海の金融街

「九大生のための海外留学情報」

Webサイト http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/ 交換留学についての詳細や、過去の交換留学生による 報告書も大学毎にたくさん掲載しています。

復旦大学の特色



河南省に位置する太行大渓谷での研修旅行

復旦大学は中国のトップレベルの学生が集ま る大学で、中国の学生は皆勉強熱心です。一方、 海外からも多くの留学生が集まり、特に欧米の学 生は授業での議論が非常に活発です。このような 優秀な学生が集まるキャンパス内では常に中国 語や英語が飛び交っています。このような刺激あ る環境で自らを成長させることができ、かつ欧米 に比べ生活費が安く済むという点でも復旦大学 は魅力的です。

考えています。

の成長や貴重な出会いに繋ったと

そして、復旦大学では学生による交流イベント や数多くのサークル、キャリアイベントなどがありま

す。実際に私は中国人学生に交じって米系投資 銀行のキャリアセミナーに参加し、上海と香港支 社の職員の方々にお話を伺うことができました。 日本人での参加者は私のみでしたが、数多くの機 会に積極的に参加することで多様なネットワー が構築でき、今後の自分の進路選択や研究に生 かすことができるとても貴重な経験になりました。

中国に興味がある人はもちろん、興味がまだ無 い人も是非上海に足を踏み入れてみて、世界一の スピードで発展している国を体感してみてはいか がでしょうか。

KYUDAI **NEWS!**



秋季学位記授与式を挙行 平成27年度

370名が新たに本学の学位を取得しました。 て、平成27年度秋季学位記授与式を挙行しました。合計 平成27年9月25日(金)、伊都キャンパスの椎木講堂に

の代表者に学位記が授与されました。 卒業生・修了生が出席し、久保総長からそれぞれの課程 式には、本年4月以降に学位取得の要件を満たした

述べました。 さん(トルコ)が「変化を恐れず継続して変化を受け入 学府博士後期課程のタニルディズィ・モハメド・エムラ が述べられました。また、卒業生・修了生を代表して、法 に誇りを持ち、学んだことを生かし、夢を持って今後の れ、人と人の関わりを大事に生きていきます」と答辞を 未来を切り開いて大きく飛躍してほしい」と激励の言葉 久保総長からの告辞では、「九州大学を卒業したこと

椎木講堂前で、時間を惜しみつつ、友人や家族と記念写 真に収まる卒業生・修了生の姿が多く見られました。 式終了後には、ステージ上に設置された看板の下や



のタニルディズィ モハメド エムラさん答辞を述べる法学府博士後期課程







新入生代表のヨーケ・ケネンスさん

図りながら、考える力を養うことを目的としています。 素である「ロジカルシンキング(論理的思考)」の向上を 体的な学び方を身につけ、汎用的な人間力のひとつの要

外国人短期留学プログラム 平成27年度秋季入学式· 開講式を挙行

講式を挙行しまし 留学プログラム開 パスの椎木講堂に 日(木)、伊都キャン て、平成27年度秋季 入学式·外国人短期 平成27年10月1

学生活を送り、留学 れから有意義な留 語を学び日本文化 中に積極的に日本 に触れて欲しい。こ 久保総長は「留学 Kyushu University Fall 2015 Op

の目的を達成されることを心から願っています」と歓迎 の言葉を贈られました。

クォック・タイン総領事より歓迎の挨拶をいただきまし 来賓を代表して在福岡ベトナム総領事館のブイ

> た、本学からは、囲碁部の前顧問で、四段の腕前である 棋士の吉原由香里六段を講師として招へいしました。ま

10月14日(水)に行われた第2回目の講義には、プロ

久保総長も登壇しました。受講した学部1~4年の50名

新入生を代表して、農学部のタオ・センランさん(中

ギー)、JTWのナターシャ 国)、法学府修士課程のヨー ちに幕を閉じました。 リア)が、歓迎への感謝の意 ケ・ケネンスさん(ベル 挨拶が行われ、式は盛会のう や学生生活の抱負を交えた アンドラデさん (オーストラ

真剣に対局を行っていました。

本科目は、囲碁を通して自発的に問題を提起できる主

そして、次の一手を考えながら、陣地や石を取り合い の前にして、楽しみながら石を打つ姿が見られました。 碁の基本ルールを早くも理解しつつ、初めての碁盤を目 の学生は、「なかなか難しい」と言いながらも、3つの囲

KYUDAI **NEWS!**

シンキングを身につける 基幹教育 一囲碁で養う考える力」が -囲碁を通してロジカル

う考える力」が開 合科目「囲碁で養 から、基幹教育・総 平成27年度後期

___ 会場の様子

います。 トの下で実施して 日本棋院のサポー て、公益財団法人 た新しい科目とし 育の理念に基づい 学ぶという基幹教 考え方・学び方」を 目は、「ものの見方 講しました。本科



授業の様子

開



第9回日中学長会議を本学にて開催

にて、本学主催による第9回日中学長会議を開催しまし 平成27年10月28日(水)~30日(金)、伊都キャンパス

機関から学長らが、「グローバル時代における日中大学 学関係者が参集しました。本会議では、両国の35大学6 の国際化」をテーマに率直な議論を行いました。 ので、今回の会議には、 本および中国の主要大学の学長間で意見交換を行うも 本会議は、日中の大学間交流の活発化を目指して、日 、総勢約200名の日中両国の大

中大学での次世代人材共同育成と学術共同研究」の2つ ました。午後には「大学の国際化と社会貢献」および「日 見進総長および厦門大学の朱崇实校長が基調講演を行い 術振興機構の濵口道成理事長の挨拶の後、東北大学の甲 和国駐日本国大使館・教育部の白剛公使参事官、科学技 まり、文部科学省高等教育局の常盤豊局長、中華人民共 29日(木)に行われた会議は、久保総長の開会挨拶で始



常盤文部科学省高等教育局長のご挨拶 化 同フォーラムで ラムが開催され されました。 の課題などについ は、九州大学国際 同時に学生フォー て熱い議論が交わ 学生委員会 また、分科会と

> を行いました。 流について意見交換 の国際化や日中の交 生の目線からの大学 2テーマについて、学 internationalized?」 € university」 し 「Why do universities need to be to the internationalization of a Japanese and Chinese の日中の学生代表らが「How can students collaborate (SClKyu)の企画・運営により、各大学から参加した32名

> > 参加者による集合写真

は、 連携の促進と促進す 国の大学による協力・ 際化に関する福岡宣 おける日中大学の国 て「グローバル時代に 言」を採択し、日中両 、き4つの重要事項 最後の全体会合で 初めての試みとし



を宣言しました。 ローバル・スキルを備えた人材育成のための教育研究連 的 した、短期・長期の教育連携プログラムづくりの推進」 「2.日中間の産学連携の推進」、「3.世界で活躍するグ (「1.グローバル社会に重要な課題解決に向けた、学際 な共同研究プロジェクトと学際的教育連携の推進」、 並びに教育リソースの活用」、「4.学生の視点を重視

間における更なる学術連携が期待されます。 有し、また、相互に理解を深めることができ、今後の両国 今回の会議を通じて、両国の大学間における課題を共



学術講演会を開催 社会の構築に向け 水素元年 ― 新しいエネルギー

歯学研究院の古谷野潔教授)からの提案を受け、同会議 的とし、日本学術会議九州・沖縄地区会議(代表幹事 けてー」をテーマとした学術講演会を開催しました。本 ルにて、「水素元年-新しいエネルギー社会の構築に向 が主催、本学が共催しました。 講演会は、地域社会の学術の振興に寄与することを目 平成27年9月8日(火)、伊都キャンパスの稲盛ホー

挑戦 科の堂免一成教授から「太陽エネルギーと水からの水 の広瀬雄彦氏から「持続可能な社会に向けての新たな 車株式会社技術統括部プロフェッショナルパートナー 総長から挨拶の後、工学研究院の佐々木一成主幹教授 素製造」、比較社会文化研究院の吉岡斉教授から「水素 から「水素エネルギーの現状と将来展望」、トヨタ自動 講演会では、日本学術会議の向井千秋副会長、久保 燃料電池車の現状と未来」、東京大学工学系研究



会場には、学内外

挨拶をする向井副会長 とって克服すべき課 が行われました。 点からそれぞれ講演 題」と題し、様々な視

エネルギーの発展に

かがわれました。 いて関心の高さがう エネルギー社会につ ルギーやこれからの が来場し、水素エネ 含む150名あまり から一般市民の方を

KYUDAI **NEWS!**

鳥人間コンテストで優勝本学鳥人間チームが

チームが滑空機部門で優勝しました。 スト2015」において、本学学生サークルの鳥人間 平成27年9月2日(水)に放送された「鳥人間コンテ

を競う大会(テレビ番組)です。 実施され、自作人力飛行機による飛行距離や飛行時間 本コンテストは7月25日(土)・26日(日)に琵琶湖で

に日々励んできました。 の初優勝を目指し、メンバー全員で自作人力飛行機製作 最長となる新記録も樹立しました。今大会では本部門で おり、平成25年度には学生で組織されたチームとしては 心に、これまで38回開催された大会のうち33回参加して 本学鳥人間チームは飛行距離を競う滑空機部門を中

本番では風を味方につけ、綺麗なフライトで観客を魅 了し、373mを飛

きました。大会後、 と喜びを語りまし を残せてうれしい という最高の結果 んで見事優勝に輝 メンバーは「初優勝

祝いのメッセージ 宇宙飛行士からお ムの大先輩である を受け、鳥人間チー が寄せられました。 AXA若田光一 なお、今回の優勝



本学の百田将吾さんが優勝 福岡マラソン2015」で

ルズ)がランナーを激励しました。また、本学の陸上競 員、応援団やチアリーディングチームETOILES(エトワ ました。伊都キャンパスの沿道では、本学の学生・教職 てのコースを走る「福岡マラソン2015」が開催され トップで見事優勝しました。 技部に所属している工学府1年の百田将吾さんが総合 平成27年11月8日(日)、福岡市内から糸島市にかけ

キャンパス周辺に住む多くの学生や留学生が駆けつ 援に力をもらった」と感想が聞かれました。 アリーディングチームの演技、学生・教職員らの声援 け、熱い声援を送りました。応援団の力強い応援や、チ くのランナーを迎え、また見送りました。沿道には伊都 20km地点に位置する伊都キャンパスは、参加した多 島まで42・195kmを走りました。コースの途中、約 に、元気に応えるランナー達の姿が多くみられました。 で選ばれた約1万2千人のランナーが県内外から参加 ランナーからは、「伊都キャンパスでのあたたかい応 今回が2回目の開催となる福岡マラソンには、抽選 福岡の都市部から海沿いを通り自然豊かな糸島半



総合トップで優勝した百田将吾さん

学研究の発展に貢献できるよう支援を行います。

本支援センター職員一同は、今後とも本学の生命科

10月現在)。

KYUDAI **NEWS!**

教育・研究支援センター 設立10年目 ヒト疾患モデル研究センター



研究機器を利用する様子

れた英文原著論文は200報に達しました(平成27年 ターを利用して得られた研究成果を含むことが記載さ ています。現在までに8万5千名が利用し、本支援セン り、本学のすべての研究者・学生に対して支援を行っ 研究院が管理運営していますが、医学研究院はもとよ スの医学部基礎研究A棟2階に設置され、「Core ける「先端的研究の推進」と「若手研究者の育成・ボト を迎えました。本センターは、本学の生命科学研究にお 研究支援センターは、平成27年10月1日で設立10年月 Facility」として運用を開始しました。設立当初から医学 ムアップ」を目的として、平成18年10月、病院キャンパ 医学研究院附属ヒト疾患モデル研究センター教育



受賞のお知らせ

生体防御医学研究所 主幹教授 佐々木 裕之

おける優れた業績を挙げた方に授与されます。

紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術およびスポーツ・芸術文化分野に



チフェロー)を経て、本学遺伝情報実験施設助教授、国立遺伝学研究 DNAメチル化と小分子RNAの重要性を発見するなど、哺乳類のエ 平成22年1月に本学生体防御医学研究所教授に就任しました。ま 所総合遺伝研究系教授、同研究所総合遺伝研究系研究主幹となり、 遺伝情報実験施設助手、英国AFRC動物生理学遺伝学研究所およ 挙げたことが評価されました。 ピジェネティクスの制御機構の解明において、パイオニア的な業績を 胞のゲノムインプリンティング現象や、遺伝子発現制御における、 います。佐々木教授は、分子生物学、遺伝学の分野において、生殖細 本学生体防御医学研究所長、平成26年10月に本学副学長に就任して た、平成22年5月には主幹教授の称号を付与され、平成24年4月に びケンブリッジ大学ウェルカム/CRC研究所への留学 佐々木教授は、本学大学院医学系研究科博士課程を修了後、 (海外リサー

工学研究院 主幹教授 堀田 一善治

平成27年秋 瑞宝中綬章

瑞宝章は、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与されます。

名誉教授 杉本 正美

名誉教授 川建

和雄

Welcome to Kyushu University

マサチューセッツ工科大学

2015年8月17日(月)

経て、平成13年4月に本学大学院工学研究院教授に昇任しました。 程を修了後、同大学材料科学科研究員、本学工学部助手、助教授を

堀田教授は、米国南カリフォルニア大学大学院材料科学科博士課

マサチューセッツ工科大学(MIT)のハリー・タラー教授が久保総長、 若山理事・副学長、青木理事・副学長を表敬訪問されました。

の制御の分野において、透過型電子顕微鏡、特に分析電子顕微鏡にお

への応用、ならびに巨大ひずみ付与による新規組織制御法の開発に著 いて精度の高い簡便な定量分析法の確立と微小領域定量組成分析法

しい業績を挙げたことが評価されました。

究センター長に就任しています。堀田教授は、材料組織解析およびそ WP-主任研究者、平成27年4月に本学巨大ひずみマテリアル国際研 に本学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (『CNER) また、平成21年5月には主幹教授の称号を付与され、平成22年12月

昨年度より次世代燃料電池産学連携研究センターは、世界トップ レベル研究者招へいプログラム [Progress 100] の支援を受けて、MIT との本格的な連携活動を進めています。今回は佐々木センター長と の共同研究のため、来学されたものです。

表敬訪問には、Sean Bishop客員准教授(MITから招へい)、同セン ターのGeorge Harrington助教、カー

際研究所のNicola Perry助教も同席し. 今後の研究者交流や 大学院生交流などに ついて意見交換が行 われました。

> 左から4人目が ハリー・タラー教授▶



そ九州大学へ う

ダッカ大学

2015年9月29日(火)

ダッカ大学のNasreen Ahmad副学長ほか17名が、安浦理事・副学 長を表敬訪問されました。

今回は、本学大学院システム情報科学研究院、大学院システム情 報科学府およびロバート・ファン・アントレプレナーシップ・センタ (QREC)とダッカ大学経営学部との学術交流協定の締結調印式のた め来学されました。これまでシステム情報科学研究院とダッカ大学経 営学部は共同で途上国の社会情報基盤構築に関する研究や実証実 験を行っており、今回の部局間協定締結に至ったものです。

表敬訪問には、システム情報科学研究院のアシル准教授とQRECの 高田教授も同席し、今後の研究者・学生の交流と研究連携について、 意見交換が行われました。



▲前列右から7人目がNasreen Ahmad副学長

一池池伊新秋赤赤明赤富田田岐川月峰松石尾 光生

様様様様様様様様様様様

知昭幸英雄秀

遠藤

有隆恒人太郎

外匿名希望3企業等 九州大学庶親会 工業株式会社 小川ポンプ 株式会社 池田工業様 (計6企業等) 様

企業・団体など

寄附者ご芳名

未来を切り拓くリーダーの育成

20

賜り、誠にありがとうございます。本号では、平成27年5月 ご芳名 (五十音順)を掲載させていただきます。 今後とも九 1日から同年10月31日までに寄附申し込みいただいた皆様の 大学基金をよろしくお願い申し上げます 九州大学基金の趣旨にご賛同いただき、多大なご支援を



様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

重執塩椎澤佐坂坂坂小小小國権郡富行塚木口藤本口井山溝寺分丈島

宏英稔賢英武重栄賢圭達和敬城夫輔理彦文生史子生雄子

鳥豊富富藤越沢吉田條 寺都田田地留麥淵 義武誠達真釉一邦晴子二也代章志裕

九大会員

クレジット決済による

福平平平日原原原原濱橋島野田島置田田田田田本 橋野野野西奈中中中中中中長永本村田崎山良山山村溝俣西鳥田間 喜允慎修晴 義弘三忠博常道武 藤 素子 美津二 奈津 穂子

荒殿 誠子 継続的な支援者 秀子

様様様様様様様様

山山森崎口山 (計188名) 匿名希望45名

様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

増田 俊也 平野 忠 平野 忠 外 匿名希望19 松野下 正 (計61名) 正博靖み岳正敦里弘征雄健 臣幸国ど史和子美治洋治禎 り

九大会員総数11213名 平成27年10月31日 、継続的な支援者175名、 うちクレジット決済による 現在

KYUSHU UNIVERSITY Campus Magazine 2016.01

確定申告のお知らせ

平成27年1月1日から12月31日までの間に九州大学基金へ寄附いただいた皆様は、 確定申告期間中(平成28年2月16日から3月15日まで)に確定申告をお願いします。

〈手続き〉

- ○寄附者の皆様には、寄附時に本学 より「寄附金領収書」をお送りしてお ります。なお、クレジットカード決済に より継続的にご支援いただいている 方への領収書は、平成28年2月中旬 までに、平成27年分をまとめて発行 し、お送りします。
- ○確定申告時に、「寄附金領収書」を 添えて手続きを行ってください。手続 きは所轄税務署窓口のほか、イン ターネット(e-Tax)でも行うことがで きます。
- ○「寄附金領収書」を紛失された場 合は、総務部基金事業課へご相談 ください。
- ○詳しくは九州大学基金Webサイトや 国税庁Webサイトをご覧ください。

寄 附 金 領 収 書

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

> 九大 太郎 様

寄附金額

円

上記のとおり寄附金を受領しました。

平成27年4月1日

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号 国立大学法人九州大学総長 九州大学基金本部長

久 保 千

上記の金額は、所得税法第 78 条第 2 項第 2 号及び法人税法第 37 条第 3 項 2 号に基づき財務大臣が指定した客附金(昭和 40 年 4 月 30 日大蔵省告示 154 号)に該当するものです。 (注) 1. この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金又は法人税法上の全額損金算入

を認められる指定客附金として財務大臣から指定されています。
2. 上記の措置を受けるために、確定申告に際して、この領収書が必要となりますので、相当期間大

位近傍を低迷

しています。

特にここ15年でいえば、

回

少々嫌みに聞こえるかもしれませんが

という他校を圧するダントツの

低

(お問い合わせ先)

切に保管してください へ合わせ先) 〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学総務部基金事業課 (電) 092-802-2150

●お問い合わせ

九州大学総務部基金事業課

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL:092-802-2150 FAX:092-802-2149

E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp Webサイト:http://kikin.kyushu-u.ac.jp

文武両道をめざして欲しい

吉武 考三郎様(1977年九州大学法学部卒、体育総務委員会委員長/バドミントン部出身)



;も「文武両道」を念頭に体育施設の充実など諸施策を の成績と学問分野での業績や就職などを含めた大学 行なのです。 まだまだやることは多いと思いますが、 勢いには相関関係があるように思えてなりませ 体育会系OBである我々も各サークルへの支援を含

、ぜひ大学本

ち出していただきたいものです 質実剛健・剛毅木訥の九大魂が蘇ることを願ってや

ようで、 回りで開催している総合体育大会のことで、 しょうが、実は大変残念なことに我が母校は、 回目になります。 七大戦とは、 多分総合成績は拮抗しているのでは、 O B の 方は、 旧帝大であった七校が昭和37年から 人として心を痛めています 立ちや規模の似通った七 最近母校の成績が振るわな と思われる 大学で 、今年で 、常に

活動に明け暮れていました。特に七大戦はメインイベ トでした。 学生時代は学業そっちのけで専ら「体育総務委員会」

同窓会だより

九州大学ホームカミングデー&福岡同窓会アラムナイフェス2015

間の交流を図るアラムナイフェス、そして伊都キャ 催し、過去最多となる700名以上の方が参加しま ンパス誕生10周年記念事業を同時開催しました。 ホームカミングデーと、九州大学福岡同窓会の会員 した。本年は、同窓生の方などを対象とした本学の デー&福岡同窓会アラムナイフェス2015を開 平成27年10月17日(土)、九州大学ホームカミング

映し、その後貫正義福岡同窓会会長(昭和4年・経 伊都キャンパスの教育・研究を紹介するDVDを上 議会長より挨拶をいただきました。引き続き、主に 祐二糸島市長、そして濱地重利九州大学移転対策協 DVD上映から始まり、総長の挨拶ののち、髙島宗 郎福岡市長(代読:進藤正孝福岡市西区長)、月形 当日は、久保総長指揮による九大フィル演奏の 応援団による演舞

済学部卒)より挨拶があり

講演会では、本学医学研

学が世界に誇る半世紀に及 お話しいただきました。 究院の清原裕教授より、本 ぶ「久山町研究」について その後、上野至大九州大

年・工学部卒)による祝辞 学関西同窓会会長(昭和42

数となり大好評でした。 学部の枠を超えて交流しました。 と乾杯で幕を開けた交歓会では、 伊都キャンパスバスツアーは、昨年以上の参加者 参加者が、世代や

し、起業をテーマにしたトークセッション、福岡同 同窓生と在学生との交流会では、「Q-sync」と題



下、Open Café 2015も実施 共同参画推進室の協力の 会場では、松の実会、男女 就職アドバイスを行い、別 生による在学生への進路

しました。 アラムナイフェスステー

ジでは、同窓生や在学生の

り、賑わいに花を添えました。 見る「九大百年」展、特別展示「一九大1968-や創造工房の展示、大学や各同窓会などの活動紹 卒) のミニコンサートがありました。その他、写真で 介、農学部附属施設の生産物などのブース出店があ ステージ発表、宇佐元恭一氏(昭和57年・経済学部

金」等への継続的なご支援・ご協力を引き続き呼び かけていくこととしています。 動への支援を継続していくとともに、「九州大学基 にとって重要な基盤となります。今後、各同窓会活 繋り、同窓生などと大学の連携強化など大学の発展 は、在学生の同窓生意識の醸成や同窓生と在学生の このような本学と福岡同窓会による合同の催し

ホームカミングデー事務局、福岡同窓会事務局 (九州大学総務部基金事業課内)

TEL: 092-802-2158

〈関連Webサイト

http://koyukai_kyushu-u.ac.jp/alumni/16 http://www.kyushu-u.ac.jp/event/home_coming_day/

林震煌

(平成6年・工学研究科修了)

台湾同窓会総会・懇親会

窓会幹事などの若手同窓 長、芝田理事·事務局長他 OB会の木津玉次郎会長 3名と、台湾駐在員九大 た総会が開催され、久保総 久保総長の歓迎会を兼ね (昭和46年‧経済学部卒) 平成27年11月11日(水)

科修了)、元日本交流協会 輝男(昭和49年・理学研究 加しました。 の蒲武雄を招き、33名が参

(昭和45年‧農学研究科修 懇親会では、鄭森雄会長

和43年・工学部卒)のおかげで久保総長一行をお迎 了)の開会挨拶の後、久保総長よりご挨拶いただき えできました。今回の功労者である黄先輩に乾杯を ました。今回はロバート・ファンさん(黄徳慈)(昭 していただきました。

歳三唱で閉会しました。 院長の陳進利教授(昭和51年・農学研究科修了)の万 に、総長が大学の近況を説明しました。監察院前副 会は、バイオリン生演奏の中で盛り上がり、後半

新会員の参入に、会を更に拡大していきたいです その親睦と情報交換の拠点として活動を進めます 取れるのは200名程度のため、今後は名簿の充実 今後も、台湾の同窓生、台湾人や日本人駐在員も 現在、会員500名以上のうち、メールで連絡を



集合写真

九州大学学生寮同窓会 地区別懇親会

ました。以下、各地区幹事からの報告を掲載いたし 懇親会が関東、中部、関西、九州の4地区で開催され 平成27年7月に、九州大学学生寮同窓会の地区別

学生寮同窓会副会長 高橋 義人 (昭和59年・理学部卒

【関東地区

昨年の30周年記念イベントは意義深いものでした。 を開催できたような気がします。そういう意味でも 名が集まりました。久しぶりに同窓会らしい同窓会 氏(昭和42年・工学部卒)をはじめ、年代を超えた17 窓会30周年記念祝賀会で講演いただいた上野至大 店にて開催いたしました。今年は、昨年の学生寮同 第21回関東地区会懇親会を赤坂の転石亭流石本



きたいと切に願っております。 この輪を少しずつ広げてかつ強固なものにしてい

関東地区幹事 梅小路 学(平成元年・法学部卒)

(中部地区)

らこそだと思うと、いいご縁があったのだなあとつ 代を超えて、このような繋がりを保てるのも、身近 くづく思います。 に生活を共にしていた寮生活の繋がりがあったか でき、いつも貴重な経験をさせて頂いています。世 経験豊富な先輩方で、ためになるお話を伺うことが がりました。仕事や会社の話題にとどまらず、人生 から芋焼酎「いも九」の差し入れもあり、大変盛り上 博多虎次郎にて開催いたしました。今年は九州大学 第15回中部地区会懇親会を名古屋市の九州料理

中部地区幹事宮本幸一(昭和63年・工学部卒)

【関西地区】

は兵庫が生ん にて開催いた 馬温泉小都里 を兵庫県の有 地区会懇親会 の絵画鑑賞か 氏の美術館で タの横尾忠則 イラストレー だ偉大な画家 しました。今年 第14回関西



関西地区会懇親会の様子

ゆったりとつかった後、酒宴、二次会と盛り上がり ました。翌日は灘の酒蔵めぐり、中華街でのランチ 鑑賞で堪能しました。夜は有馬温泉の金泉、銀泉に らはじまり、めくるめくコラージュの世界を講義と なって来たのを感じます。 たりと過ごす時間がとても貴重で代え難いものに ごした共通の場所を持つ方々との年に一度のゆっ と神戸の町を満喫しました。多感な時期を一緒に過

関西地区幹事山口良二(平成4年・工学研究科修了)

[九州地区]

は、中国地方居住の方も是非足をお運びください。 謝しました。来年は関門海峡を渡り、山口・下関市 での再会と、九州各県持ち回り企画の完結を喜び合 県持ち回りで開催してきた九州地区懇親会も、今回 九州地区幹事 樋渡 和浩 (昭和58年 · 工学部卒) での開催を目指すことで一同合意しました。来年 行、我々を育ててくれた学生寮の偉大さに改めて感 して同窓生の近況から、いつものように昔話に移 いました。続いて、九州大学や松原寮の最新情報、そ の佐賀をもって一区切りとなります。当日は、唐津 本から始まり、長崎、鹿児島、大分、宮崎と、九州各 旬彩にて開催いたしました。九州の「へそ」である熊 第19回九州地区会懇親会を佐賀県唐津市の魚庵

E-mail: GZb10355@nifty.com 学生寮同窓会副会長 高橋 義人 〈本寄稿文に関する連絡先〉

〈関連Webサイト〉

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/23

Essociation

平成27年7月28日(火)、夏季ビアパーティーを開

関西同窓会ビアパーティー

催しました。

河野俊行教授にユネスコの世界遺産選定などについ (講演いただきました。 12回目を迎える講演会は、九州大学法学研究院の

の同窓生がいることの心強さなどが、リタイア組の 卒年・学部横断の交流の場として盛り上がりました。 卒)の開会挨拶、九州大学山縣理事のご挨拶、荒巻禎 部卒) 司会のもと、上野至大会長(昭和42年・工学部 方から近況や趣味などが語られました。財界で活躍 名誉会長(昭和28年・法学部卒)の乾杯で幕を開け 参加者スピーチでは、初参加の方から本会に多く ビアパーティーは、北野嘉文氏(昭和57年・経済学

若い方には役立った される方のお話は、 ようです。

部卒) リードの「松原 氏(昭和59年·経済学 援団OBの宮原直樹 唱で盛り上がり、応 様による愛唱歌の合 に」を歌い閉会しま アカデミーOBの皆 会は恒例のコール



「松原に」を全員で熱唱

愛媛同窓会総会・記念講演・ビアパーティー

ティーが開催されました。 175名、総会出席51名の盛大な会となりました。 愛媛同窓会の総会も4回目となり、名簿登録 平成27年8月22日(土)、総会・記念講演・ビアパ

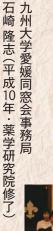
お話いただきました。 大学の荒殿理事・副学長より のもと、昨年度の活動報告、決算等が承認され

総会は、藏原一郎議長(昭和29年・医学部卒)進行

だきました。 科の、八尋秀典教授に講演いた は、愛媛大学大学院理工学研究 2年ぶりとなる特別講演で

歌い、結束力を高めました。 大学学生歌「松原に」を全員で 上がり、中締めでは恒例の九州 懇親会は話に花が咲き盛り

ネットワークを構築していける よう、努力を重ねて参ります。 交流を深められ、より良い 今後も同窓生の皆さまが、よ



当日の参加者構成は平成卒75%、女性比率は23%と

若い層で溢れました。5年前はそれぞれ15%、7%

現し、会場の皆さんに喜んで頂けたことと思います。 変な思いをしながらも何とか飾り山・追い山とも実 は承知で取り組みました。担当するメンバーは、大 は、山笠、。企画会議で出たこのアイデアを難しいの とっても有益であることが狙いです。今年の出し物

冒頭に流すムービーで参加者に具体案を訴えかけま

した。少しでも大学にとって、また、我々卒業生に

相互発展することも う機能に加え、未来 時代を懐かしむとい 来提言を行ってお 在り方について昨年 と、情報交換を通じ に向けた人脈作り り、今回のテーマを た、同窓会と大学の 目指しています。ま もっと知ろう九大を、支えよう九大を!」とし、会

東京同窓会事務局 楢﨑光雄 (昭和46年・法学部卒)

もっと来てもらえるよう努力をしていく所存です。 であったので様変わりです。今後はベテラン層に

〒790-0044 松山市余戸東4-9-16

九州大学愛媛同窓会事務局

〈連絡先

E-mail: kyudaitokyo@gmail.com

〈関連Webサイト〉

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/62

〈関連Webサイト〉

TEL: 090-8697-2559

(有限会社メディカ内)

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/65

〈関連Webサイト〉

関西同窓会幹事長 岡政徳 (昭和44年・法学部卒)

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/19

当会は、古き良き

文学部同窓会総会·懇親会

物館で開催しました。 平成27年8月29日(土)、総会・懇親会を福岡市博

佐藤信茂議長(昭和34年卒)のもと、全ての議案等が 州大学文学部長の坂上康俊名誉会長のご挨拶の後、 動や奨学会充実のための取組についてのご挨拶、九 承認されました。 総会は、船津正明会長(昭和37年卒)から同窓会活

環境学府修士課程1年)に奨学金が授与されました。 氏(人文科学研究院専門研究員)と、松永慶子氏(人間 文学部同窓会奨学会の奨学金授与式では、大塚知昇

ただきました。 学芸員の堀本一繁氏(平成3年卒)に見所を紹介い 特別展「大関ヶ原展」の鑑賞前には、福岡市博物館

ちに閉じました。 懇親会は懐かしい話題に笑顔が絶えず、盛会のう

待ちしております。 りますので、皆様のご参加をお の総会時企画などを検討してお 近づき、これを機に来年度以降 伊都キャンパスの移転完了が

高野和良(昭和63年卒 文学部同窓会副会長

同窓会奨学金による奨学金授与式

撮り、次の例会日時を平成27年12月4日(金)と決め

て散会しました。

ど有意義なお話を拝聴しました。皆の近況報告や思

い出を語るうちに時間もせまり、最後に記念写真を

画、百周年記念募金事業にまつわる秘話や、山歩き

(九大山の家、富士登山、アラスカ山歩きの計画)な

らんたん」建設の趣旨など、梶山先生の功績を紹介

しました。梶山先生からは伊都キャンパスの移転計

梶山先生へのお礼と、ホームカミングデーの創設や

本部および工学部本館の建物保存、「あかでみっく

みました。次回は会場を名古屋市東区に移し、10月 紹介、懇親会、博多名物などが当たる抽選会を楽し

21日に開催予定です。多数の参加を期待しています

講師の小室俊二氏

備されています。その他、小室氏には多岐にわたり

が進み、現在は、全国幹線道路網約9500㎞が整 道路「名神」全線開通を嚆矢に、一気に道路網の整備

中身の濃いお話を伺いました。講演後、恒例の新人

だったそうです。その後、昭和4年の日本初の高速

業国日本の道か」と世界銀行調査団が絶句するほど

備が遅れ、道路公団発足当時の6年前は「これが下

諸国に比べ徒歩、鉄道が主流だった我が国は道路整

文学部同窓会事務局

TEL: 092-632-6070 (通常は留守番電話にて対応)

E-mail: bundo@lit.kyushu-u.ac.jp

〈関連Webサイト〉

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/1 http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/alumni/

九大にくしん会「150回例会」

第24回「東海九大会」

を採用し実行いただいた 私から会員の要望・提案 年・法学部卒)の乾杯の後、 ある野崎清博氏(昭和29 をはじめ13名が参加しま 学士会館にて開催しまし なく、150回目の例会を 昭和53年6月16日の第1 た。特別参加としてご招待 回例会から一度の休会も した。当会発起人の一人で した九州大学梶山元総長 平成27年9月17日(木)



集合写真

海九大会が開催されました。

平成27年10月15日(木)、会員約50名が集まり、東

にくしん会 [150回] 例会

を講演いただきました。馬車などの文化を持つ西洋

執行役員の小室俊二氏より、高速道路の歴史や現況

一部では、中日本高速道路株式会社取締役常務

木下弓子(昭和43年·文学部卒

(連絡先)

星山芳幸(昭和29年・法学部卒

九大にくしん会代表幹事

東海九大会事務局時高豊彦(昭和46年・ TEL: 090-9191-7616 工学部卒

E-mail: tokitaka@mb.ccnw.ne.jp

(関連Webサイト)

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/86

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/66

〈関連Webサイト〉

TEL, FAX: 042-729-0833

(連絡先)

平成27年9月

九大ジビエハンター 食と命考える研究 安田章人 基幹教育院 助教 (9/1两日本)

地域活性化コンテスト 糸島市振興策アイデア発表 学生団体[iTOP]主催 九大グループ 「いと×バイ」最優秀賞 九大生 今井宙さん (9/3糸島、9/6読売)

発達障害 治療に糸口 レット症候群原因遺伝子の働き解明 中島欽一 医学研究院 教授、 辻村啓太 医学研究院 特任助教 (9/4西日本・読売・朝日、9/23日刊工)

福岡・糸島に化粧品新工場 ピュール、九大と連携強化 (9/4日経・読売・朝日・産経・毎日、9/6西日 本、9/10糸島)

寺内正毅の研究書発刊 伊藤博文の手紙など新資料 文人の一面も "発掘" 伊藤幸司 比較社会文化研究院 准教授

(9/4産経)

日韓海峡圏カレッジ常設化 福岡一釜山フォーラム開催 久保千春 九大総長、 波潟剛 比較社会文化研究院 准教授

(9/5読売、9/6西日本、9/9朝日)

未成年者の政治参加意識 「考え選ぶ」10代尻込み 蓮見二郎 法学研究院 准教授

IJTテクノロジーホールディングス 新社長に原田理志氏〈九大卒〉 (9/8日刊工)

放課後に「九大寺子屋」 九大生、糸島の小学校で出前授業 九大院生 野田真澄さん、 今祐輔さん

(9/8朝日、9/9西日本・読売、9/10糸島)

サイバー防衛のプロ育て 九大でセキュリティ・キャンプ九州

脳の炎症 仕組み解明 免疫細胞を障害性に変化 中西博 歯学研究院 教授 (9/8日刊工)

突風・竜巻、全国で猛威 寒気流入、大気不安定に 前田潤滋 人間環境学研究院 教授

(9/8日経)

糸島にすむ野生動物展示 志摩歴史資料館 九大総合研究博物館所蔵 丸山宗利 九大総合研究博物館 助教

(9/9朝日、9/12読売)

新聞で報道された九州大学

司法試験漏洩 「現役教員が考査委員になることの 問題点を再検討すべき」 「人生かけているのに許せない」 田淵浩二 法科大学院長、 九大院生 田嶋絵莉香さん (9/9朝日・読売)

動き出す 水素アイランド 「チーム九大」燃料電池磨く 佐々木一成 水素エネルギー国際 研究センター長 (9/10日経)

水素ステーション設置 九大など 費用半減へ 研究開発に着手 (9/10日経産業)

福岡空港 数学応用で混雑緩和へ 九大や富士通総研など実証実験 マス・フォア・インダストリ研究所 (9/11日経・産経・日経産業・日刊工)

外来スズメバチ本土に 門司で巣を確認 「早めの対応が必要」 上野高敏 農学研究院 准教授 (9/12読売・産経)

カイコと遺伝学研究 世界の95%800系統の遺伝子変 異体を保存 伴野豊 農学研究院 准教授 (9/12两日本)

福岡県文化賞 奨励部門 デジタルアートクリエータ-工藤達郎 芸術工学研究院 学術研究員

糖尿病 胎児の遺伝子消失 先天性心臓病に関係 九大グループ解明 目野主税 医学研究院 教授 (9/13読売)

福岡一釜山フォーラム 第10回会合連携の主役若者に 「グローバル人材を育てる」 久保千春 九大総長、 松原孝俊 韓国研究センター 教授 (9/15两日本)

九州合唱コンクール 九大混声合唱団銀賞

生物多様性日本アワード優秀賞 九州大学島谷研究室など受賞 (9/16毎日・読売、9/17西日本)

九大の"宝"散逸危機 箱崎キャンパスで保管 移転先・保存の財源不足 前田晴良 総合研究博物館 教授 (9/17两日本)

がん患者の口腔ケア連携 九大病院と福岡県歯科医師会 石橋達朗 九大病院長 (9/17西日本、9/26読売)

大雨に備え 糸島市一貴山で一斉非難 ICカードで人数確認 中井俊文 システムLSI研究センタ - 学術研究員 (9/17糸鳥)

九大発ベンチャー 支援ファンド第1号を設立 QBキャピタル

外来危険バチ 国が調査 「いち早く駆除できるよう準備を 上野高敏 農学研究院 准教授 (9/19西日本、9/22読売)

九大芸術工学部サークル [ANIMA Production] 天神で作品展開催 (9/19毎日・西日本)

加齢のため?唾液出ない 唾液腺などの自己免疫疾患か 森山雅文 歯学研究院 助教 (9/20読売)

真価問われる大学発の創薬 「日本型」に資金の弱み 米滿吉和 薬学研究院 教授 (9/21日経)

朝鮮通信使世界記憶遺産に 西谷正 名誉教授

(9/21・9/24西日本、9/24朝日) 「こうのとりがISS救った!」

士気上がる 管制チームに若田光一宇宙飛行士 (9/21・9/22産経)

いじめ防ぐ心育て 教員の経験基に授業素材集 增田健太郎 人間環境学研究院 教授

(9/22西日本)

温暖化対策 アジア支援 九大はベトナムで 燃料電池とバイオガスを活用 (9/23日経)

牛丼食べ続けるとどうなる? 吉野家、大学と研究 九大農学部が脂質に関する味覚 研究

(9/23日経)

御嶽山噴火災害から1年 犠牲なき噴火 教訓風化 藤光康宏 工学研究院 教授 (9/24西日本)

火山防災充実 人づくりから 「減災へ社会的責任」 清水洋 理学研究院 教授 (9/25西日本)

児童・生徒が起業体験 クラフトフェスで販売も 九大有志による「いとしま子ども起 業家塾」 (9/25糸島)

イスラーム教徒の多様性 尊重するためには、まず知ること 山尾大 比較社会文化研究院 准教授

(9/25 • 10/3西日本)

将来について考える授業 「糸島『まち×エネ』プロジェクト 九大院生 福井崇郎さん (9/25西日本)

随筆喫茶 虫けらと呼ばないで 「昆虫の姿をじっくり見てほしい」 丸山宗利 九大総合研究博物館 助教

(9/26西日本)

九州の火山 噴火に備えを 「情報などに注意を払ってほしい」 清水洋 理学研究院 教授 (9/26朝日)

NPOに学生弟子入り 社会貢献活動に関心狙う 「地域に根ざした活動について 学びたい 九大生 武内心太朗さん (9/26朝日)

炭鉱現場、待遇の差なかった 明治日本の産業革命遺産 三輪宗弘 九大附属図書館 教授 (9/28産経)

九大、新科目に囲碁 論理的思考養う 日本棋院九州本部から講師を招く 須藤信行 医学研究院 教授 (9/29年日)

高校生の「主権者教育」 社会を担う自覚育てて 施光恒 比較社会文化研究院 准教授

(9/30两日本)

日立・九大・九電グループ 新型発電用風車を共同研究 九大のスパコンで解析 内田孝紀 応用力学研究所 准教授 (9/30日経、10/2日経産業)

九州から世界へ 福岡発の先端技術 福岡県・市・北九州市が連携 梶山千里 IST理事長、 國武豊喜 FAIS理事長、 新海征治 ISIT所長 (9/30日刊工)

平成27年10月

産学連携、国際化… 「水素に次ぐ独自性を」 全分野 世界100位以内に 久保千春 九大総長 (10/1西日本)

九大、2017年4月より「4学期制」 全学部で導入

(10/1西日本、10/2産経・読売・日経)

高致死率「マールブルグウイルス」 感染100%防ぐ抗体を発見 マウスで確認 橋口隆生 医学研究院 助教

「3手先読む」 学生育む 九大が囲碁授業開設 久保千春 九大総長も教壇に (10/1・10/17西日本、10/19産経)

秋本番 変わる街、人 10月スタート 九大理学部 伊都キャンパスに移転 (10/1两日本)

(10/1日経産業)

2015年度グッドデザイン賞 燃料電池が受賞 九大で運用 (10/1円経)

福岡家庭裁判所長に就任 永松健幹氏〈九大卒〉 (10/2読売)

チンチン雷車が走った街 城南線 第3部 六本松 電車の揺れと音の記憶は今も 折田悦郎 大学文書館 教授 (10/3两日本)

留学生に防犯・生活指導 110番通報など学ぶ 筑紫キャンパス 九大留学生 アリ・ユセフィアンさん (10/3毎日)

筥崎宮創建時の梵鐘? 鋳型や鋳造跡見つかる 福岡市が発表 「当時の筥崎宮に梵鐘があっても 自然なこと 佐伯弘次 人文科学研究院 教授 (10/3两日本)

子育て、起業… コラムが本に 九大院生 太刀山美樹さん (10/3西日本)

感染症 闘う[レベル4]施設 世界中の日本の研究者、 危険なウイルスを研究 マールブルグウイルスのワクチンを 研究 橋口隆生 医学研究院 助教 (10/4円経)

九大六本松跡地 複合ビルの安全祈願祭 九大法科大学院などが入る予定 (10/6毎日・読売・日経、10/7西日本・毎日・ 読売・産経)

九大発VBのリアムウィンド 「弱風でも発電」実証試験 小型風車、12月から 来夏の認証目指す 大屋裕二 応用力学研究所 教授 (10/7円経産業)

九大箱崎キャンパス 近代建築物の見学・ 撮影ツアー開催 (10/7朝日、10/10・10/16・10/17読売、 10/14西日本)

糸島市東風校区の子どもたちに モニュメント寄贈 知足美加子 芸術工学研究院 准教授 (10/8糸阜)

芸術工学部学生団体PanX プロジェクションマッピング×演劇 のコラボレーション 「IRIS(アイリス)」を公演 (10/8两日本)

普及遅れる福祉有償運送 制度に問題 採算取れず 持続的な運営が難しい 制度上の問題を指摘 嶋田暁文 法学研究院 准教授 (10/9毎日、10/20西日本)

呼子のイカ 東京で活き作り 産学官連携の実験段階から 10年目を迎える 特殊水槽や実験に九大など協力 (10/9読売)

女性の地位語ろう 国連世界女性会議20年 「自分たちの問題」 九大院生 山本鈴奈さん (10/9两日本)

再稼働を問う 複合災害逃げ道ない 川内原発近くの集落 吉岡斉 比較社会文化研究院 教授 (10/12朝日)

出張先ランラン 全国走破100コース 本に 外須美夫 医学研究院 教授 (10/14朝日、11/10西日本)

紀伊半島沖に未知の地質帯 南海トラフ地震に影響か 九大などの研究グループ確認 辻健 カーボンニュートラル・エネル ギー国際研究所 准教授

(10/15産経、10/19日経)

音楽季報 パフォーミングアーツ 悪循環を断つ 地方発の可能性 中村滋延 芸術工学研究院 教授 (10/15西日本)

抗がん剤調合ロボ開発 薬剤師の健康守る 九州大学病院、安川電機など (10/16日経・毎日、10/17産経、10/22西日本)

新たな海洋汚染を生む可能性 プラスチック微細片 磯辺篤彦 応用力学研究所 教授 (10/16两日本)

九大発 核と平和論 原爆の絵 被爆者の戦後史 継承を 直野章子 比較社会文化研究院 准教授

(10/16两日本)

特許全分野、相互に紹介 九州大学など九州8大学、 共同研究企業に

(10/17・10/20日経)

「九州といえば焼酎」か 世界では無名 文化発信しグローバルに Sho-Chuプロジェクト代表理事 坂口光一 工学研究院 教授 (10/17朝日)

今津人形芝居公演 西部6校区祭り 伊都キャンパス10周年を記念して 開催

(10/19西日本、10/22糸島、10/25読売)

有機EL安価で高輝度 炭素などで効率よく 京都大と九州大の研究グループが 開発

(10/20日経産業)

「まちづくりの哲学と手法を九大生 が考える国際ワークショップ」 九大決断科学大学院プログラム専 攻の学生が企画 九大院生 土中哲秀さん (10/23毎日)

九大、ネット出願 来年度から開始 国立大で九州初 (10/24西日本・日経・読売・朝日)

主権者教育 取材メモから 学びを深める中立授業って? 生徒会活動の再考求める声も 18歳選挙権 施光恒 比較社会文化研究院 准教授

(10/24两日本)

高等教育のあり方 関係者30人が討論 第26回毎日大学フォーラム 「教養教育が廃止されると、 多様性が失われる」と課題を指摘 丸野俊一 理事·副学長 (10/24毎日)

こども記者だより お医者さんは コミュニケーション力が大事 中島寅彦 医学研究院 准教授 (10/26两日本)

HIV、細胞接触で増殖 感染全体の6割 京大・九大・東大の研究チーム 詳しい仕組みをつきとめる (10/26日経産業)

子どもの居場所 「きんしゃいきゃんぱす」 "斜めの関係"安らぎに 九州大学教育学部の学生ら、 2004年空き店舗に開設 (10/27西日本)

いじめ認知各県で隔たり 宮崎、佐賀の23倍 アンケート手法影響 增田健太郎 人間環境学研究院 教授

(10/28西日本)

九大生態工学研究室などでつくる 「福岡のカブトガニ保護の歴史を未 来につなぐ会し、 今津干潟でカブトガニ観察会を実施 「自然を守っていきたい」 九大院生 村川大亮さん (10/30西日本)

聴診記 延命拒否 あるALS患者の死 在宅介護 環境厳しく 吉良潤一 医学研究院 教授 (10/30西日本)

第74回西日本文化賞 学術文化部門 杉町圭藏 名誉教授 (10/31西日本)

新聞で報道された九州大学 平成27年11月

笑顔のハロウィーン 九大病院キャンパス 病気や障害のある子どもに ハロウィーンイベント開催 (11/1朝日)

学徒出陣入学者の8割超 神戸大初の実態調査 意義深い取組み 折田悦郎 大学文書館 教授 (11/1神戸新聞)

大学解剖 九州大学 久保千春 九大総長、 大屋裕二 応用力学研究所 教授、 佐々木一成 水素エネルギー国際 研究センター長、

吉良知文 マス・フォア・インダストリ 研究所 准教授、

佐藤剛史 農学研究院 助教、 ハザリカ・ヘマンタ 工学研究院 教授、 橋爪誠 先端医療イノベーションセ ンター長、

大平猛 先端医療イノベーションセ ンター 特任教授、

内山誠 統合新領域学府長、 村瀬英一 工学研究院 教授、 志堂寺和則 システム情報科学研 究院 教授、

小江誠司 工学研究院 主幹教授、 梶山千里 元総長、

有川節夫 前総長、 池田弘一 アサヒビール元会長 〈九大卒〉

(11/2・11/4・11/5・11/6日経産業)

秋の褒章 紫綬褒章受章者 佐々木裕之 生体防御医学研究所 主幹教授、

堀田善治 工学研究院 主幹教授 (11/2西日本・朝日・読売・毎日・日経・日経

「本格焼酎の日」

櫛田神社で焼酎発展祈願祭開催 「九州の焼酎が一つになって発展 する象徴に」

SHO-CHUプロジェクト 坂口光一 工学研究院 教授 (11/2朝日、11/8読売)

視覚機能発達 仕組みを解明 大木研一 医学研究院 教授 (11/3読売)

秋の叙勲受章者 川建和雄 名誉教授、 杉本正美 九州芸術工科大名誉教授 (11/3日経・産経・読売・朝日・毎日・西日本)

燃料電池 両極に酵素 白金使わぬ製造に道 小江誠司 工学研究院 主幹教授 (11/4日経産業、11/7朝日)

地元の人や九大工学部の学生ら 佐波で菜の花植える

ニッポンの肖像 葉室麟のロマン史談 「日本人と憲法」 南野森 法学研究院 教授 (11/5毎日)

複雑な有機化合物多段階合成 水酸基保護剤を開発 特定基だけに反応 着脱可能で収率90%超 鳥飼浩平 理学研究院 助教 (11/5日刊工)

自己免疫疾患治療に道 陶腺たんぱく質の役割を解明 福井宣規 生体防御医学研究所 主幹教授

移住者と地元の人が共に 「糸島ジモト学」講座開講 坂口光一 工学研究院 教授

いじめ9割解消「本当か」 「解消判断あいまい」 增田健太郎 人間環境学研究院 教授

(11/7西日本)

叙位叙勲 正四位 冨田稔 名誉教授

(11/7西日本、11/8読売) 福岡マラソン 男子の部優勝

九大院生 百田将吾さん (11/9朝日·毎日·西日本、11/10西日本·朝日·

第58次南極観測隊長に 小山内康人 比較社会文化研究院

(11/10西日本、11/13産経、11/20朝日・読売・ 日経、11/30西日本)

設立10周年 九州大学・鉄鋼リサーチセンター 産業界のニーズ 迅速、正確に教育に反映 髙木節雄 鉄鋼リサーチセンター長 (11/10鉄鋼新聞)

第31回京都賞授賞 國武豊喜 名誉教授

(11/11毎日・読売)

下水から水素 一般に供給開始 燃料電池車へ世界初の試み 福岡市、九州大学などと 共同で取り組み

(11/11読売・日経・朝日・西日本)

「九大寺子屋 | 好奇心を刺激 九大生、小学校に出向く 算数にマジック、「錯覚」を考える 九大生 吉沢美典さん、 伊藤瑞恵さん (11/11朝日)

街の成り立ち後世に 九大院生、10年の記録本に 来春完成へ奔走 池田美奈子 芸術工学研究院 准教授、

九大留学生 林可佳さん (11/11西日本)

風力発電で「乱流」研究 故障や効率低下の要因 九大と東芝、共同研究 内田孝紀 応用力学研究所 准教授 (11/12朝日・読売)

真のグローバル大学は アジア研究の蓄積 留学生に提供を 英語以外も多彩に エドワード・ヴィッカーズ 人間環境学研究院 准教授 (11/12朝日)

余生の受け皿 九州模索 CCRCモデル事業に6市町 社会保障費増に懸念も 馬場園明 医学研究院 教授 (11/12西日本)

トゥクトゥク乗車で災害募金に協力 九州大学有志の地域活性化団体 [iTOP]

北海道の恐竜化石 九州に 九州大学総合研究博物館で公開 「発掘現場の雰囲気も知ってほしい」 前田晴良 総合研究博物館 教授 (11/13日経、11/14産経、11/16西日本、11/19

12mmの穴潜り抜け 内視鏡手術向けロボハンド開発 九州大学先端医療イノベーション センター

(11/13日刊工)

叙位叙勲 正四位 森稔 名誉教授 (11/18読売・西日本)

生体酵素と光触媒複合化 光反応で物質転換 嶌越恒 工学研究院 准教授、 久枝良雄 工学研究院 教授 (11/19⊟∓IIT)

古い建物を記録 シブいいね! 黒塗りの学舎・ビラの跡・・・ブログに 九大生 田中康さん、植田真史さん (11/19朝日)

訃報 荒木誠之 名誉教授 (11/19西日本)

無重力を体感しよう 波多江で子ども講座 身近な材料で作った実験道具を使 い講演 牧原正記 水素材料先端科学研究 センター 教授

妊娠中のてんかん薬服用 子の記憶力低下も 運動で改善期待 中島欽一 医学研究院 教授 (11/20两日本・毎日、11/30日経産業)

(11/19糸島)

筑前高で大学出張講義 2年生進路学習 九州大などの教授や講師、 講義を行う (11/20糸島)

肖像 大学・社会つなぐ「放送局」に 山縣由美子 理事 (11/21日経)

大学間シンポ 豪で開催 九大・シドニー大 「スーパーグローバル大学創成支援」 事業の一環として開催 (11/23日刊工)

京都賞 知をたたえて30年 細胞膜初めて合成成功 國武豊喜 名誉教授 (11/24朝日)

今津の水辺に親しむ 九大生態工学研究室の学生、 「第1回ミズベリング瑞梅寺川会議」 を開催 干潟など観察 九大院生 穴井貴也さん

おなかのあかちゃん大丈夫? 自分で判断せず、相談を 「妊娠と薬外来」 九大病院、県内唯一の外来 近藤有希子 医師(特任助教) 村上裕子 薬剤師 (11/24西日本)

これからの高等教育のあり方を 考える 毎日大学フォーラム 丸野俊一 理事·副学長 (11/26毎日)

施光恒の一筆両断 施光恒 比較社会文化研究院 准教授 (11/26産経)

第68回九大祭にぎわう 催しや模擬店ずらり (11/26糸島)

英国流笑い 福岡で 九大留学生 オリー・ホーンさん (11/27読売)

韓国語弁論大会 九大生が最優秀賞 九大生 崎村怜奈さん (11/30两日本

風 人付き合い積極的に 中高生を教える「シェアハウス塾」 九大院生 鍛治昌男さん (11/30两日本)

九州大学特集2015 常に未来の課題に挑戦する大学 久保千春 九大総長 (11/30日刊工)

本学では、世界的研究・教育拠点として、研究活動のより一層の活性化と産学官連携活動の推進を図るため、 研究または産学官連携活動に関し、研究の活性化と財務上の貢献が特に顕著な職員を表彰しています。 本年度は、以下74名の職員を11月1日付けで表彰しました。

No	一	本十及は、 職名	以下/4石の職 身 氏名
No.		,,,,	
1	(システム情報科学研究院)	理事·副学長	安浦寛人
2	(薬学研究院)	理事·副学長(主幹教授)	井上 和秀
3	人間環境学研究院	教授(主幹教授) 	吉本圭一
4	法学研究院	教授(主幹教授)	河野 俊行
5	理学研究院	教授(主幹教授)	射場厚
6	理学研究院	教授(主幹教授)	木村 崇
7	理学研究院	教授	舘田 英典
8	医学研究院	教授(主幹教授)	赤司 浩一
9	医学研究院	教授	伊藤 隆司
10	医学研究院	教授	岩本 幸英
11	医学研究院	教授(主幹教授)	大木 研一
12	医学研究院	教授	神庭 重信
13	医学研究院	教授	清原 裕
14	医学研究院	教授	吉良 潤一
15	医学研究院	教授	田口 智章
16	医学研究院	教授(主幹教授)	中西 洋一
17	医学研究院	教授(主幹教授)	橋爪 誠
18	医学研究院	教授	林克彦
19	医学研究院	教授	古江 増隆
20	医学研究院	教授(主幹教授)	前原 喜彦
21	医学研究院	教授(主幹教授)	諸橋憲一郎
22	医学研究院	准教授	大川 恭行
23	薬学研究院	教授	米滿 吉和
24	工学研究院	教授	秋葉 悦男
25	工学研究院	教授(主幹教授)	安達千波矢
26	工学研究院	教授(主幹教授)	石原 達己
27	工学研究院	教授	伊藤 衡平
28	工学研究院	教授(主幹教授)	小江 誠司
29	工学研究院	教授	上平 正道
30	工学研究院	教授(主幹教授)	君塚 信夫
31	工学研究院	教授(主幹教授)	後藤 雅宏
32	工学研究院	教授(主幹教授)	佐々木 一成
33	工学研究院	教授	田中 敬二
34	工学研究院	教授	津﨑 兼彰
35	工学研究院	教授(主幹教授)	戸田 裕之
36	工学研究院	教授	中嶋 直敏
37	工学研究院	 教授	西村 伸

No.	所属	職名	氏名
38	工学研究院	教授(主幹教授)	堀田 善治
39	工学研究院	教授	松村 晶
40	工学研究院	教授	村瀬 英一
41	工学研究院	准教授	星野友
42	工学研究院	准教授	森上修
43	工学研究院	准教授	八木 和行
44	システム情報科学研究院	教授	岩熊 成卓
45	システム情報科学研究院	教授(主幹教授)	都甲 潔
46	システム情報科学研究院	教授(主幹教授)	横尾真
47	総合理工学研究院	教授	小山 繁
48	総合理工学研究院	教授	波多聰
49	農学研究院	教授	伊東 信
50	農学研究院	教授(主幹教授)	立花 宏文
51	農学研究院	教授	南石 晃明
52	農学研究院	准教授	花井 泰三
53	病院	病院長	石橋 達朗
54	病院	講師	岡崎 賢
55	生体防御医学研究所	教授(主幹教授)	佐々木 裕之
56	生体防御医学研究所	教授	鈴木聡
57	生体防御医学研究所	教授	鈴木 淳史
58	生体防御医学研究所	教授(主幹教授)	中山 敬一
59	生体防御医学研究所	教授(主幹教授)	福井 宣規
60	生体防御医学研究所	准教授	石谷太
61	生体防御医学研究所	学術研究員(特任教授)	藤木幸夫
62	応用力学研究所	教授	柿本 浩一
63	応用力学研究所	教授	胡 長洪
64	応用力学研究所附属東アジア海洋大気環境研究センター	教授	竹村 俊彦
65	先導物質化学研究所	教授(主幹教授)	高原 淳
66	先導物質化学研究所	教授	YOON SEONG HO
67	産学連携センター	教授	古川 勝彦
68	稲盛フロンティア研究センター	教授	古山通久
69	稲盛フロンティア研究センター	教授	安田 琢麿
70	稲盛フロンティア研究センター	教授	山崎仁丈
71	先端医療イノベーションセンター	学術研究員(特任教授)	大平 猛
72	水素材料先端科学研究センター	学術研究員(特任教授)	松岡三郎
73	循環器病未来医療研究センター	教授	江頭 健輔
74	循環器病未来医療研究センター	学術研究員(特任教授)	砂川賢二



箱崎キャンパスに刻まれた「知的好奇心」の歴史

理学部の歴史は、1939 (昭和14) 年の物理学科、化学科、地質学科の開設から始まりました。1942 (昭和17) 年には数学科、1949 (昭和24) 年には生物学科が新設され、現在の5学科制の基礎が固まりました。

箱崎キャンパスのほぼ中央に位置していた理学部棟は、1960 (昭和35) 年に完工した本館を中心に、2号館、3号館、4号館、各実験室と学びの場を 拡充し、知的好奇心による自由闊達な研究を進めてきました。その「知的好 奇心」の歴史は、2015年秋、伊都キャンパスへと受け継がれたのです。

Big Orange (ビッグオレンジ)

伊都キャンパスでは自由にキャンパス内を散策いただけます。自家用車で見学にお越しの際は、ビッグオレンジにて見学者用パスカードをお受け取りください。受付にて散策コースのご案内も行っています。 そのほか、大学紹介映像の上映や各種広報物の配布も行っています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

【施設情報】

【平日】9:30~16:00 (12:00~13:00は除く) ※団体の方は10:00から受け付けています 【土:日·祝日】9:30~16:30

E-mail: BigOrange@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webサイト: http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/showcase/photo/center/bigorange.html



住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

九州大学広報室 TEL: 092-802-2130 E-mail: koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会 TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp 九州大学同窓会連合会 TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp

